

「浦安市子ども・子育て支援総合計画(第6章)」掲載事業
 ～平成28年度進捗状況・平成29年度事業予定と今後の課題～
 最終報告(平成28年4月～29年3月実績)

＜実施状況・評価等の見方＞

事業番号	96	事業名	子育て支援パスポート事業	担当課	こども課
重基					
計画内容	重：重点施策で取り組む事業 基：少子化対策基金対象事業				
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成22年4月1日より子育て支援パスポート事業を開始し、平成27年度は、91店舗の事業所に協賛いただいています。また、新規店舗の募集や継続的に協賛いただいている店舗に子育て支援パスポートガイドブック(冊子・電子)を入れた事業所に対して、3月に表彰式を開催しました。			
	実績値	協賛店舗数	91店舗	予算額	1,610千円
		表彰件数	61件	決算額	
	評価	A	協賛店が着実に増加しており、事業の周知や子育て家庭のパスポートの利用が進んでいます。		
平成29年度事業予定と今後の課題	子育て支援パスポート事業については、平成22年度から市独自事業として開始し、年々着実に協賛店舗を増加しており、また、平成25年度からは千葉県「子育て応援！チーバス事業」が開始され、本市では県民対象の「子育て支援パスポート」の申請が可能となっています。平成26年度を電子書籍化するとともに、協賛5年を過ぎた店舗に対して、表彰式を開催し、協賛の促進を図っています。				

薄緑色になっている箇所は、H26年度に策定した「子ども・子育て支援総合計画」に掲載されている計画内容

H29年3月末までの実施状況

実施状況を踏まえ、A～C評価と効果内容を記載。
 A:計画以上、または計画どおり進んでいる
 B:計画より若干遅れている
 C:計画より大幅に遅れている

次年度の事業予定や課題を記載

1 安心して産み育てられる環境づくり

(1) 妊娠期からの切れ目のない支援体制の構築

事業番号	1	事業名	子育てケアプラン作成等事業	担当課	こども課
重基事					
計画内容	面談や電話で子育てに悩む保護者の相談を行うとともに、関係機関や育児制度、サービスの紹介を行います。 また、子育て世帯の悩みや不安感、孤独感を軽減し、妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援を行うため、特に行政とのつながりが希薄になる妊娠から1歳6か月健診までの時期を中心に、子育てケアマネジャーと保健師が子どもの成長に応じた「子育てケアプラン」を作成します。				
	相談件数	平成25年実績	455件	平成29年目標	541件
	子育てケアプラン作成件数	平成25年実績	—	平成29年目標	4,227件
平成28年度実施状況と評価	実施状況	子育て相談室及び子育て総合窓口で、子育てケアマネジャーによる相談を行いました。また、妊娠期、出産前後、子どもが1歳の誕生日前後を対象に子育てケアプランを作成しました。平成28年9月から、第3庁舎にあった子育て応援ルームを健康センターに移設し、子育てケアプランを作成する部屋を健康センターに集約しました。さらに、子育てケアプランの効果測定のため、順天堂大学と共同で子育てケアプランを作成した保護者や対応した子育てケアマネジャー等への調査を実施しました。			
	実績値	相談件数	348件	予算額	34,352千円
		子育てケアプラン作成件数	3,836件	決算額	31,852千円
	評価	A	育児の悩みや制度・サービスに関する疑問など、子育てに関する多様な相談を行い、見守りが必要な方には専門的な機関につないでいます。また、妊娠期～子どもが1歳6か月頃に子育てケアプランを基本3回作成し、切れ目のない支援を行うことで漠然とした不安の解消や新しいサポートの紹介・利用にもつながっています。		
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続き、子育て相談室・子育て総合窓口での相談や子育てケアプランの作成を行います。子育てケアマネジャーは子育てケアプランの作成や子育て相談の業務量が年々増加してきていることに加え、退職者の補充に備えた人材養成の必要があるため、質を担保しながら養成することが課題です。				

事業番号	2	事業名	子育て支援ギフト事業		担当課	こども課	
基							
計画内容	<p>出産前後と子どもが1歳の誕生日を迎える時期に子育てケアプランを作成した子育て世帯を対象に、育児パッケージ「こんにちはあかちゃんギフト」や子育て支援サービス等に利用できるバウチャー券「ファーストアニバーサリーチケット」等を贈呈します。</p>						
	こんにちはあかちゃんギフト贈呈件数	平成25年実績	—	平成29年目標	1,500件	平成31年目標	1,500件
	子育て支援チケット贈呈件数	平成25年実績	—	平成29年目標	3,000件	平成31年目標	3,000件
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>出産前後の時期に子育てケアプランを作成した方には「こんにちは あかちゃんギフト(マザーズバックや衣類の詰め合わせ)」と「こんにちは あかちゃんチケット(市内協賛店で利用できる5,000円相当のバウチャー券)」を、1歳のお誕生日前後にケアプランを作成した保護者には、「ファーストアニバーサリーチケット(10,000円相当のバウチャー券)」を贈りました。</p> <p>また、「こんにちは あかちゃんギフト」は年度ごとにデザインを変えているため、平成29年度版マザーズバックや衣類の企画・制作を行いました。さらに子育て支援チケット(こんにちは あかちゃんチケット・ファーストアニバーサリーチケット)の協賛店の新規募集や既存店舗への継続・サービス内容の確認等を行いました。</p>					
	実績値	こんにちはあかちゃんギフト贈呈件数	1,436件	予算額	88,621千円	決算額	71,590千円
		子育て支援チケット贈呈件数	1,199件				
評価	A	子育て支援ギフトを贈った市民から、概ね満足の声をいただいています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	<p>引き続き、子育てケアプランを作成した方にそれぞれの時期に合わせた子育て支援ギフトを贈ります。</p> <p>保護者の意見を伺いながら、よりニーズにあった利用しやすいギフトの作成が課題です。</p>						

事業番号	3	事業名	子育てケアマネジャー養成事業		担当課	こども課	
基							
計画内容	<p>子育て・家族支援者養成講座2級認定者から子育て相談や子育てケアプランの作成を担う子育てケアマネジャーの養成を実施し、人員を拡充します。</p>						
	子育てケアマネジャー数	平成25年実績	8人	平成29年目標	16人	平成31年目標	16人
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援を目指し、子育て世代をサポートする担い手として、子育てケアマネジャーの養成を継続して実施していますが、平成28年度は子育てケアマネジャーが計画予定人数に達していることを理由に、新たな人材養成を行いませんでした。</p>					
	実績値	子育てケアマネジャー数	17人	予算額	1,080千円	決算額	0千円
評価	A	<p>計画策定時に想定した子育てケアプラン作成業務及び相談業務に対応した人員は揃いましたが、今後も業務拡充や退職に伴う補充の時期に合わせて、子育てケアマネジャーの養成を行います。</p>					
平成29年度事業予定と今後の課題	<p>子育てケアプランの作成(出産届時、出産前後、1歳のお誕生日前後に作成)や子育て相談の業務量が年々増加してきていることに加え、退職者の補充に備えた人材養成の必要があるため、今後の子育てケアマネジャーの必要人員を見据え、平成29年度は2名程度の新たな子育てケアマネジャーを養成する予定です。</p>						

事業番号	4	事業名	育児相談の充実	担当課	健康増進課		
計画内容	乳幼児を対象に身体計測、発育・発達の確認、育児相談を行い、発育・発達の遅れや疾病を早期発見するとともに、子育てに関する不安や悩みの軽減を図ります。また、支援が必要な方に対して関係各課と連携しながら継続した支援を行います。						
	延べ相談者数	平成25年実績	1,371人	平成29年目標	1,300人	平成31年目標	1,300人
平成28年度実施状況と評価	実施状況	未就学児とその保護者が対象で、毎月1日と半日、合計1.5日、健康センターで開催しています。保健師、栄養士、歯科衛生士による、こどもの育児や健康、栄養、歯に関する相談(身体計測あり)や平日、電話、面接での育児相談も受け付け、育児のノウハウや不安や悩みの軽減を図っています。継続支援が必要な方に対して、同事業での継続フォローや関係各課、医療機関等と連携しながら支援しています。					
	実績値	延べ相談者数	1,715人	予算額	506千円	決算額	417千円
		評価	A	広報、ホームページ等で対象者へ周知を行っており、予定通り事業開催できています。			
平成29年度事業予定と今後の課題	平成27年度より育児相談事業の会場を変更しましたが、平年並みの参加者数となっております。相談しやすく、そして会場や内容などについては柔軟な事業の運営をし、関係機関と連携していきます。						

事業番号	5	事業名	地域子育て支援拠点の充実	担当課	こども課・保育幼稚園課		
計画内容	地域における子育て支援の拠点として、子育て支援センター、地域子育て支援センターやつどいの広場の充実を図ります。						
	延べ利用者数	平成25年実績	85,564人	平成29年目標	85,092人	平成31年目標	83,236人
	箇所数	平成25年実績	11施設	平成29年目標	11施設	平成31年目標	11施設
平成28年度実施状況と評価	実施状況	市内に9ヶ所ある地域子育て支援センターの運営を、2か所は直営で、7か所は民間で行っています。平成29年3月末現在の同事業の利用者数は、延べ76,393人で、各支援センター別の延べ利用者数は、浦安市子育て支援センター33,944人・高洲保育園子育て支援センター7,105人(直営)、海園の街保育園子育て支援センター5,445人、浦安駅前保育園子育て支援センター4,240人、入船北保育園子育て支援センター4,910人、しおかぜ保育園子育て支援センター3,025人、ポピンズナーサリースクール新浦安子育て支援センター6,526人、弁天保育園子育て支援センター6,979人、愛和元町保育園子育て支援センター4,219人となっています。また、市内に2ヶ所あるつどいの広場では、堀江で10,282人、明海で7,385人の利用となっています。					
	実績値	延べ利用者数	94,060人	予算額	18,925千円	決算額	18,504千円
		箇所数	11施設				
評価	A	様々な事業やイベントを行う地域子育て支援センターが市内に9ヶ所あることで、利用者は場所や開催日を選択し、複数のセンターを利用しています。また、これに併せ、市内2ヶ所にあるつどいの広場も同様に利用されています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続き11ヶ所で開催することで、地域の子育て拠点として、今後も地域支援活動を実施していきます。						

事業番号	6	事業名	子育てポータルサイト「MY浦安」の充実	担当課	こども課		
重 基 事 計画内容	行政・民間の子育て支援に関する情報を一元化し、妊娠中、子育て中の保護者にとって利用しやすく、分かりやすい子育てポータルサイトを運営し、内容や機能を充実するとともに、地域の子育て支援活動を活性化します。						
	サイト内容 機能の充実	平成25年実績	—	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	民間と行政の子育て支援情報を一元化したポータルサイトとして「浦安子育て情報サイトMY浦安」を運営し、各種年齢別や目的別ガイド、イベントカレンダーなど、市民が利用しやすいサイトを提供しています。 利用実績(平成29年3月末現在)は、延べアクセス数317,531件、延べページ閲覧数808,563件となっており、昨年同時期と比較して、延べアクセス数12.1%増加、延べページ閲覧数10.5%増加となっています。					
	実績値	サイト内容 機能の充実	充実	予算額	4,700千円	決算額	4,699千円
	評価	A	延べアクセス数、ページ閲覧数は順調に増加しており、サイト内容・機能に関しても、逐次利用者の動向を分析し、常に改善を図りながら運営しています。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	本市の子育て支援専門のポータルサイトとして、年齢別や目的別ガイドをはじめ、イベントカレンダーなど、市民が利用しやすいサイトを提供できるよう引き続き運営します。また、利用状況を随時把握しながら、各コンテンツの見直しやアクセスシビリティに配慮したサイトに改善を図ります。						

事業番号	7	事業名	子育てハンドブックの発行・配布	担当課	こども課		
事 計画内容	妊娠期から子どもが就学するまでの市の様々な子育て支援サービス等を紹介する「子育てハンドブック」の内容充実を図りつつ、定期的な発行を行います。						
	ハンドブック作成部数	平成25年実績	7,000部	平成29年目標	7,000部	平成31年目標	7,000部
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	妊娠、出産、子育て支援のサービスを時系列に掲載するとともに、市内医療機関の紹介、相談機関の紹介等を掲載した子育てハンドブックを作成しました。 また、平成28年度から始まった「庁舎内託児室」や「こどもネウボラ」を特集として掲載し、妊娠、子育て中の市民へ周知を図りました。また、平成28年度より企業広告を掲載し、2企業より広告収入を得ました。					
	実績値	ハンドブック作成部数	7,000部	予算額	1,124千円	決算額	895千円
	評価	A	特集ページで「こどもネウボラ」について掲載したことや、次年度の保育所・幼稚園(認定こども園)の入所・入園申込みの詳細が決定した時期(11月)に発行したことで、子育て支援施策の各事業やこどもへの保育・教育を希望する市民に対し、最新情報を提供することができる冊子となっています。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	子育てハンドブックの発行に関しては、毎年実施し、本市の子育て支援事業等をご紹介する代表的な冊子として、これまでも大きな役割を担っており、引き続き発行を予定しています。 また、子育てハンドブックの広告料収入に関しては、平成28年度から実施が始まりましたが、応募が少ないため、より広く周知していく必要があります。						

(2)母子の健康保持・増進や小児医療体制の充実

事業番号	8	事業名	産前学級の実施			担当課	健康増進課	
重 計画内容	初産婦を対象に、ウェルカム！ベビークラスや妊婦健康講座、プレマクッキングを実施し、妊娠・出産・育児に関する知識やサービスの周知を行うとともに、子育てする親同士の交流を促進し、子育て不安の軽減を図ります。							
	ウェルカム！ベビークラス実施回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	12回	平成31年目標	12回	
	妊婦健康講座実施回数	平成25年実績	6回	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回	
	プレマクッキング実施回数	平成25年実績	6回	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回	
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	①ウェルカム！ベビークラス：第1、2回は平日開催、初妊婦のみ参加。第3回は土曜日開催、パートナーと参加。第1回はビデオ上映、自己紹介、妊娠中の過ごし方、市の制度、お産の実際と産後の過ごし方、呼吸法。第2回は母乳育児について、赤ちゃんの育て方、育児用品、妊娠中の食生活について、母と子の歯科衛生。第3回はビデオ上映、沐浴実習、妊婦疑似体験、赤ちゃんの「泣き」について ②妊婦健康講座：妊娠期～子育て期に必要な知識の普及 ③プレマクッキング：妊婦への栄養指導、調理実習						
	実績値	ウェルカム！ベビークラス実施回数	12回	予算額	699千円	決算額	669千円	
		妊婦健康講座実施回数	6回					
		プレマクッキング実施回数	6回					
評価	A	予定通り開催できています。広報、ホームページ等で対象者へ周知を行っています。						
平成29年度 事業予定と 今後の課題	参加率が減少傾向にあるので、勤労妊婦の参加などを鑑み、時間帯の検討や月またぎの参加ができることの周知徹底をし、参加しやすいクラスの運営をしていきます。妊娠期より生活習慣の重要性について説明し、出産・育児に関して不安感がある場合は、地区担当保健師がフォローしていきます。							

事業番号	9	事業名	産前・産後サポート事業			担当課	健康増進課	
重 基 事 計画内容	妊娠期から生後約6か月までの子どもを持つ家庭を対象に、産前・産後サポーターが訪問し、円滑に育児がスタートできるよう相談にのり、家庭や地域での孤立感の解消を図ります。							
	利用者数	平成25年実績	—	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人	
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	身近に相談できる者がいないことなどから、悩みの相談や育児ノウハウの習得ができるように、産前・産後サポーターによる支援が必要と保健師が判断した方へ訪問をしています。また、切れ目のない支援を行うため、宿泊型産後ケア利用者の事後訪問を行っています。						
	実績値	利用者数	延べ 338人	予算額	2,794千円	決算額	2,789千円	
		評価	A				平成27年度は延べ172人でしたが、今年度は大幅に増加しました。	
平成29年度 事業予定と 今後の課題	周知が進み、希望者からの問い合わせが増えました。また保健師以外の職種から産前・産後サポート事業の利用者として該当しそうな方に事業を案内しており、利用者が増えています。今後も切れ目のない支援ができるように、周知と支援者側の連携を進めていきます。							

事業番号	10	事業名	産後ケア事業		担当課	健康増進課	
基 計画内容	支援者が身近になく、育児不安の強い産婦を対象に、出産医療機関を退院後、心身ともに不安定になりやすい時期に、専門職(助産師等)が母体のケア、乳児ケア、育児サポートなどきめ細かい支援を行います。産後の疲れた身体を癒し支援を受けることで、母児の愛着形成の促進やゆっくり体調を整えながら育児のできる環境を整えます。(宿泊型・デイケア型)						
	利用者数	平成25年実績	—	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人
	実施箇所数	平成25年実績	—	平成29年目標	3箇所	平成31年目標	3箇所
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>宿泊型:平成26年10月15日より、東京ベイ浦安・市川医療センター産科病棟個室で、空きベッドを利用して開始していました。平成28年3月から順天堂大学医学部附属浦安病院で実施しています。</p> <p>日帰り型(個別):平成27年1月～3月にモデル実施後、平成27年6月1日よりオリエンタルホテル・東京ベイの客室を利用し、本実施しました。平成28年4月1日より週4日実施しています。平成28年9月～11月にモデル実施を経て、平成28年12月よりホテルエミオン東京ベイにて、週1日本実施しています。</p> <p>日帰り型(集団):平成28年7月～9月にモデル実施を経て、平成28年10月1日よりTomoru助産院(佐野産婦人科)にて、日帰り型産後ケア(集団)を実施しています。</p> <p>また、浦安市の産後ケア事業を実施する事業者に対して、産後ケア事業連絡会を平成27年度より年1回開催し、産後ケア事業の質の向上を目指す取り組みを実施しています。</p>					
	実績値	宿泊型利用者数	実62人、延べ371日	予算額	66,079千円	決算額	47,733千円
		日帰り型(個別)利用者数	延べ196人				
		日帰り型(集団)利用者数	延べ1,144人				
実施箇所数	5箇所						
評価	A	<p>宿泊型2箇所、日帰り型(個別)2箇所、日帰り型(集団)1箇所で実施しています。利用した市民からは好評を得ています。事業所と連携をとりながら地域に根差した産後ケア事業を目指します。</p>					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	<p>宿泊型、日帰り型ともに産後ケアの質の向上および事業が地域に浸透するよう事業者と連携を取っていきます。</p>						

事業番号	11	事業名	各種健診事業の実施		担当課	健康増進課	
事 計画内容	疾病等の早期発見・予防を図るため、妊婦健康診査や妊婦歯科健診、乳幼児健康診査、2歳6か月児歯科健診、フッ化物塗布などを行います。						
	妊婦健康診査延べ健診回数	平成25年実績	17,107回	平成29年目標	21,000回	平成31年目標	21,000回
	1歳6か月児健康診査受診率	平成25年実績	95.4%	平成29年目標	98%	平成31年目標	98%
	3歳児健康診査受診率	平成25年実績	91.9%	平成29年目標	95%	平成31年目標	95%
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>妊婦健康診査(14回分)、妊婦歯科健診(1回分)、乳児健康診査(3回分)、2歳0～5か月児フッ素塗布(1回分)に受診票を交付し、医療機関委託にて実施しています。1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、2歳6か月児歯科健診・フッ素塗布は、健康センターにて集団健診を行っています。</p>					
	実績値	妊婦健康診査延べ健診回数	17,196回	予算額	132,198千円	決算額	136,890千円
		1歳6か月児健康診査受診率	97.2%				
		3歳児健康診査受診率	93.2%				
評価	B	<p>受診率は90%台で推移し、横ばい傾向です。</p>					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	<p>受診者の継続的なフォローや受診勧奨等を今後も実施していきます。</p> <p>歯科健診とフッ素塗布は歯科医院で受診したいという要望が多かったため、2歳0～5か月児フッ素塗布を廃止し、2歳6か月児歯科健診・フッ素塗布を医療機関で受ける形態へ変更しました。</p>						

事業番号	12	事業名	乳児家庭全戸訪問事業		担当課	健康増進課	
重 事 計画内容	生後4か月までの乳児のいる全世帯を対象に、助産師や保健師、母子保健推進員などが訪問し、子どもの成長・発達や産後の母親の健康状態などについて相談やアドバイスを行います。						
	赤ちゃん訪問件数	平成25年実績	1,255件	平成29年目標	1,351件	平成31年目標	1,348件
	母子保健推進員訪問件数	平成25年実績	1,232件	平成29年目標	1,351件	平成31年目標	1,348件
	乳児家庭全戸訪問 訪問率	平成25年実績	92.4%	平成29年目標	100%	平成31年目標	100%
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(母子保健推進員) 母子保健推進員30名で活動しています。子育てしている家庭と行政のパイプ役として、育児の不安軽減に努めています。2～3か月児のいる家庭への訪問活動を行っています。定例会を年に11回(研修を含む)実施し、知識の向上・情報共有等行っています。</p> <p>(新生児・妊産婦訪問指導) 助産師・保健師により生後0～3か月児のいる家庭への訪問を行っています。母親が心身ともに健康な生活が送れるよう、また、児の健康状態を把握するとともに、家庭での子育てが円滑に行われるよう、相談や技術指導をしています。年11回のカンファレンスにて、スタッフ間で情報共有・連携を行い、指導内容向上のための研修会(年1回)も実施しています。</p>					
	実績値	赤ちゃん訪問件数	1,263件	予算額	10,133千円	決算額	9,736千円
		母子保健推進員訪問件数	1,258件				
		乳児家庭全戸訪問 訪問率	92.8% (赤ちゃん訪問) 95.2% (母推訪問)				
評価	B	出生数が微増となり、それに伴い訪問数も増加する見込みです。長期里帰りする方が増え、訪問率は90%くらいで変わりなく推移しています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	母子保健推進員は定年等による退職者が多く予測され、活動が伝承できるよう努めます。新生児・妊産婦訪問指導は、生後2～3か月で訪問することが多い現状ですが、育児不安・困難感を感じる事が最も多いのは産後1か月です。他事業との連携を密にし、出生連絡票受理後、早めに連絡し訪問につなげるよう努めます。						

事業番号	13	事業名	健康教育の実施			担当課	健康増進課	
重 計画内容	1歳児むし歯予防ビーバー教室や歯のすこやか教室などを開催し、講話や実習をとおして子どもの生活リズム、食生活、歯の健康など身近な健康に関する知識を学ぶ機会をつくります。保健師・栄養士・歯科衛生士などが地域の子育てサロンや子育て支援施設で、子どもの健康に関する出前講座や相談に応じます。							
	ビーバー教室実施回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	12回	平成31年目標	12回	
	歯のすこやか教室実施回数	平成25年実績	64回	平成29年目標	64回	平成31年目標	64回	
	出前講座実施回数	平成25年実績	98回	平成29年目標	100回	平成31年目標	100回	
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●歯のすこやか教室(歯科保健教育)：主に、歯垢の染めだし、歯みがき実習。幼稚園14回、小学校17回、中学校9回、子ども発達センター2回、障がい者福祉センター3回保育園21回において実施しています。 ●1歳児むし歯予防ビーバー教室：むし歯予防のポイントの講話と実習を月1回実施しています。 ●出前講座：市民要望により随時受付、要望に即した内容を実施しています。 ・栄養5回、歯科11回、保健師9回 ●子育て応援講座：年2回開催 						
	実績値	ビーバー教室実施回数	12回	予算額	535千円	決算額	454千円	
		歯のすこやか教室実施回数	66回					
		出前講座実施回数	115回					
評価	A	目標実施回数の達成が見込めそうです。さらなる内容の充実に努めていきます。						
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、市内保育園、幼稚園、小学校、中学校への健康教育を進めます。また、市民の健康にプラスになるよう講座を開催したり、出前講座にも力を入れていきます。							

事業番号	14	事業名	各種予防接種事業の実施			担当課	健康増進課	
計画内容	乳幼児・児童・生徒を対象に、予防接種法で定められた予防接種を実施するとともに、子育て家庭に対して周知と相談支援を行います。							
	麻疹風しん予防接種接種実績 1期	平成25年実績	1,239人	平成29年目標	1,200人	平成31年目標	1,200人	
	麻疹風しん予防接種接種実績 2期	平成25年実績	1,627人	平成29年目標	1,600人	平成31年目標	1,600人	
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	医療機関委託による個別接種方式で実施 ●実施人数 ・麻疹風しん予防接種接種実績 1期 1,345人 ・麻疹風しん予防接種接種実績 2期 1,431人 個別通知(お知らせ・予診票)をし、周知を図っています。 また、未接種者には個別通知を実施し、周知を十分に図り接種率向上に努めています。						
	実績値	麻疹風しん予防接種接種実績 1期	1,345人	予算額	32,040千円	決算額	31,312千円	
		麻疹風しん予防接種接種実績 2期	1,431人					
	評価	A	接種率目標95%の達成を見込む予定です。また、未接種者には個別通知を送付するなど、周知を十分に図り接種率向上に努めています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、医師会を通じ医療機関委託による個別接種方式で実施します。また、個別通知(お知らせ・予診票)を実施し、未接種者には再度個別通知を実施し、周知を十分に図り接種率向上に努めていきます。							

事業番号	15	事業名	こどもの予防接種スケジュール作成支援事業	担当課	健康増進課		
基							
計画内容	スマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により、予防接種のスケジュール管理ができる機能を提供し、予防接種忘れなどを未然に防ぎ、保護者の負担を軽減します。						
	登録者数	平成25年実績	—	平成29年目標	2,000人	平成31年目標	2,000人
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成26年12月1日よりこどもの予防接種スケジュール作成支援事業を開始しています。スマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により、簡単に予防接種のスケジュール管理ができることで、子育てをする保護者の負担軽減を図り、予防接種忘れを防止しています。 ・登録人数 3,152人 ・世帯数 3,132世帯					
	実績値	登録者数	3,152人	予算額	969千円	決算額	969千円
	評価	A	毎月100人程度の登録数があり、予防接種のスケジュール管理がスマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により簡単にできるため予防接種忘れが減り、こどもの健康増進につながっています。				
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続きこどもの予防接種スケジュール作成支援事業を実施します。簡単に予防接種のスケジュール管理ができることで、子育てをする保護者の負担軽減を図り、予防接種忘れを防止していきます。すべての保護者が登録していないため、今後当アプリに浦安市の子育て情報を発信できるようにし、登録件数を増やしていく必要があります。						

事業番号	16	事業名	休日や急病時の医療体制の整備	担当課	健康増進課		
計画内容	小児救急医療対応として、日曜日・祝日の昼間に小児科医が急病診療所に常駐し、急病の子どもの初期診療を行います。また、日曜・祝日・年末年始の午前中に歯の治療が緊急で必要になった方に応急処置を行います。						
	急病診療所受診者数(小児科)	平成25年実績	2,081人	平成29年目標	2,080人	平成31年目標	2,080人
	休日救急歯科診療所受診者数(0～15歳未満)	平成25年実績	30人	平成29年目標	30人	平成31年目標	30人
平成28年度実施状況と評価	実施状況	急病診療所は、内科・小児科の初期診療を毎日(365日)20時～23時、日曜日・祝日・年末年始(12/30～1/3)10時～17時に行っています。歯科診療所は、日曜、祝日、年末年始の9時から12時に開院し、歯科救急患者に対応しています。					
	実績値	急病診療所受診者数(小児科)	1,808人	予算額	80,143千円	決算額	80,110千円
		休日救急歯科診療所受診者数(0～15歳未満)	27人				
評価	A	日曜日は小児科専門医がいるためか小児科受診者数の割合が高いです。					
平成29年度事業予定と今後の課題	継続して実施予定です。小児科専門医が不足のため、27年度より順天堂浦安病院と東京ベイ医療センターの医師にも執務を委託しております。休日歯科診療所については、受診者数は減少傾向のため継続方法等について検討が必要です。						

(2)母子の健康保持・増進や小児医療体制の充実

事業番号	17	事業名	幼稚園子育てすこやか広場の実施	担当課	保育幼稚園課		
計画内容	公立幼稚園・幼稚園型認定こども園を開放し、親子・幼児同士の遊びの指導を通じて地域の幼児間・保護者間の交流を図るすこやか広場を実施します。また、保育カウンセラーを派遣し、保育相談を実施します。						
	実施園数	平成25年実績	14園	平成29年目標	14園	平成31年目標	14園
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成28年度は3月31日時点で0歳から未就園児とその保護者を対象としたにこにこランドを14園で計258回実施し、5,558組が参加しました。また、次年度2年保育入園希望の3歳児とその保護者を対象としたわくわくランドを計66回実施し、725組が参加しました。さらに、長期休業中の8月を除く各月に1度各園に保育カウンセラーを派遣し、2,151件の相談がありました。					
	実績値	実施園数	14園	予算額	7,866千円	決算額	7,499千円
		延べ利用者数					
評価	A	核家族・少子化が進む中、地域の子どもや親同士のふれあいの場を設けることで、子育てに対する悩みや不安の解消、子育ての楽しさや喜びの実感、乳幼児期に必要な生活体験などを得ることができ、入園前に園の生活に慣れ親しむ場としても寄与しています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度は14園で324回の開催を予定しています。少子化や3歳児保育実施園の増加などから参加者数は徐々に減少していますが、未就園児を対象とした身近な子育て支援の場として継続的な実施が必要な事業となっています。また、保育カウンセラーによる保育相談によって、特に配慮が必要な子も含め、入園前から卒園・就学まで継続的な支援を行うことができます。						

事業番号	18	事業名	保育園園庭開放の実施	担当課	保育幼稚園課		
計画内容	在宅で子育て中の親子を対象に認可保育園を定期的に開放し、遊びへの参加(園庭遊び、季節の遊び、行事参加)を支援します。						
	実施園数	平成25年実績	8園	平成29年目標	10園	平成31年目標	10園
	延べ利用者数	平成25年実績	1,225人	平成29年目標	1,300人	平成31年目標	1,300人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	保育園では、地域に住んでいる親子を対象に園庭開放を実施し、子育て支援を行っています。園庭開放以外にも園内ホールを開放したり、クラス開放をして同年齢の子どもの交流の機会を設けたり、人形劇やお楽しみ会、運動会などの園の行事への参加を呼びかけています。					
	実績値	実施園数	6園	予算額	0千円	決算額	0千円
		延べ利用者数	979人				
評価	A	園庭開放を通じて同年齢の親子が知り合いになり、親交を深める機会になったり、入園希望の保育園の見学や情報収集の場になっています。また、利用者の増加に向けた取り組みが必要と考えます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	29年度も引き続き園庭開放を実施していく予定です。園児との交流体験、行事への参加の呼びかけや、保護者の方が気軽に来園して、子育ての相談や情報受信ができるような取り組みを増やしていきたいと考えます。						

事業番号	19	事業名	社会福祉協議会の子育て支援事業	担当課	社会福祉課		
重 計画内容	子育て中の親同士の情報交換や交流を推進する住民主体の活動の場として、支部社会福祉協議会が行う公民館や自治会館を利用した子育てサロンや堀江つどいの広場など、社会福祉協議会が子育て世代の交流を推進する事業を支援します。						
	延べ参加者数	平成25年実績	8,748人	平成29年目標	10,500人	平成31年目標	11,550人
	実施回数	平成25年実績	349回	平成29年目標	420回	平成31年目標	462回
	実施箇所数	平成25年実績	21箇所	平成29年目標	25箇所	平成31年目標	28箇所
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	支部社協が組織された平成13年度から各支部で「子育てサロン」を実施し、地域住民が主体となって、子育て中の親同士の情報交換や友だちづくり、交流の場づくりに取り組んできました。平成25年6月から堀江つどいの広場を、26年9月からはうらちゃんサロン望海を開設しました。助産師相談や栄養相談また、パパサロンなどの父親の育児参加促進事業を行なっています。またふたば保育園やみのり保育園と母子保健推進員の協力により同保育園内にそれぞれ「うらちゃんサロン北栄」「うらちゃんサロン猫実」を開設するなど、市の子育て施設と連動する事業を積極的に展開しています。					
	実績値	延べ参加者数	15225人	予算額	7269千円	決算額	7269千円
		実施回数	418回				
		実施箇所数	21箇所				
評価	A	子育て中の親同士の情報交換や友だちづくり、地域住民の交流の場、また、保育士や保健師などの専門職に相談することのできる場として好評を得ています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	29年3月には、母親が災害時に家族を守るための知識を学ぶ「防災ママカフェ」を開催し、29年度継続的に実施していく予定です。また28年度より堀江つどいの広場で開始した父親の育児参加促進事業のひとつである「パパとベビーのサロン」については、29年度回数を増やしたり、うらちゃんサロン望海でも開催するなど拡大していきます。子育て中の親が孤立しないよう、子育てサロンでの情報交換や友達づくりができるように、地域住民や関係機関と連携し継続的に取り組みます。						

事業番号	20	事業名	望海の街子育てサロン支援事業	担当課	こども課		
重 基 計画内容	市、浦安市社会福祉協議会及び独立行政法人都市再生機構との協働により望海の街集会所で実施している「望海の街子育てサロン」の運営を支援します。						
	運営補助	平成25年実績	—	平成29年目標	実施	平成31年目標	実施
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	地域で開催されている子育てサロンの実施状況を踏まえ、利用者を0歳児から2歳児までの子どもとその保護者・妊婦とし、第1・3月曜日は0歳児・妊婦を対象、第2・4木曜日を1～2歳児対象としたサロンを開催しています。さらに、「食育への取り組み」として子育てに追われる保護者の方に少しでもゆっくり過ごしてもらえる食事会をはじめ、時短レシピや行事会の紹介を行っており、また、離乳食教室や栄養相談も行っています。28年度の延べ参加組数は360組でした。					
	実績値	運営補助	実施	予算額	1,069千円	決算額	1069千円
評価	A	市の掲げる切れ目のない子育て支援につなげ、安心して第2子、3子を出産し、育てられる環境を、地域の資源を活用し、官民一体で取り組む先進的な事業となります。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	子育て中の親子の交流・情報交換の場として、また、子育て等に関する相談などの場として、子育てサロンが開催され、これからも不安を抱える親子には地域での子育て支援は必要であり、引き続き、平成29年度以降も運営の支援を継続していきます。						

事業番号	21	事業名	ほのぼのタイムの実施		担当課	こども課	
計画内容	妊婦や生後6か月までの親子が集い、情報交換や交流を深められるほのぼのタイムを市内各公民館で実施します。						
	開催箇所数	平成25年実績	7箇所	平成29年目標	7箇所	平成31年目標	7箇所
	延べ参加者数(組)	平成25年実績	1,459組	平成29年目標	1,500組	平成31年目標	1,600組
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>妊婦と生後6か月までの乳児及びその親に対し、地域連帯感を深め出産や育児不安の軽減を図ることを目的に、妊婦及び子育て中の親子の交流する場として、市内各公民館にて開催しています。</p> <p>・開催場所…当代島公民館、中央公民館、堀江公民館、富岡公民館(改修工事のため6月まで文化会館にて実施)、美浜公民館、日の出公民館、高洲公民館</p> <p>・開催時間…原則として月に1回指定した日の午前10時から正午</p> <p>※保健師(偶数月)、子育てケアマネジャー(奇数月)を派遣し、軽易な相談を実施。</p>					
	実績値	開催箇所数	7箇所	予算額	1,821千円	決算額	1,601千円
		延べ参加者数(組)	1265組				
評価	A	実施場所である各公民館で妊婦の方や生後6か月までの親子が集まり交流することをはじめ、保健師や子育てケアマネジャーに育児相談し、不安を軽減することで、子育て意欲を高めることができます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	各公民館の利用状況を見ると、毎月の利用者数にばらつきが見受けられますが、概ね参加をいただいています。平成29年度は、引き続き、出産や育児の不安を抱える妊婦の方や生後6か月までの親子の支援として継続していきます。また、各公民館の地域の実情に応じた周知方法などの検討をしていきます。						

2 幼児期の教育・保育の充実

(1)質の高い幼児教育・保育の提供

事業番号	22	事業名	認定こども園の整備			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	<p>重 事</p> <p>(仮称)私立明海南認定こども園を開設するとともに、公立幼稚園の認定こども園移行を進め、学校教育と保育を一体的に行う認定こども園の整備を進めます。また、認可保育園の認定こども園への移行を検討します。</p>							
	認定こども園数(幼保連携型・幼稚園型)	平成25年実績	0園	平成29年目標	9園	平成31年目標	9園	
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成29年3月31日現在で、幼保連携型認定こども園として私立渋谷教育学園浦安こども園で、また幼稚園型認定こども園として公立認定こども園8園で、認定こども園事業を実施しています。また、幼稚園の認定こども園への移行について検討を行いました。						
	実績値	認定こども園数(幼保連携型・幼稚園型)	9園	予算額	平成26年度 予算で整備	決算額	平成26年度 予算で整備	
	評価	A	多様な教育・保育の提供ができるとともに、待機児童解消の一助となりました。					
平成29年度事業予定と今後の課題	待機児童の状況を見ながら、引き続き、幼稚園・認可保育所の認定こども園への移行を検討します。							

事業番号	23	事業名	認可保育園の整備			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	<p>基 事</p> <p>待機児童の解消や多様な保育需要に対応するため、認可保育園の整備を進めます。国の認可外児童保育施設運営支援事業を活用して、運営に要する費用の一部を補助することにより、認可外保育施設が認可保育園に移行できるよう支援します。</p>							
	認可保育園数	平成25年実績	18園	平成29年目標	25園	平成31年目標	28園	
	定員数	平成25年実績	2,312人	平成29年目標	2,938人	平成31年目標	3,026人	
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成28年4月1日に浦安どろんこ保育園(定員70名)が開園し、10月1日に浦安わかばの森保育園(定員57名)の増設整備による定員増員を実施しました。(増設後定員74名)また、平成29年4月1日の開園に向けて、舞浜こどもの木保育園の整備を行いました。						
	実績値	認可保育園数	25園	予算額	40,500千円	決算額	61,767千円	
	評価	A	定員数 2,659人 多様な教育・保育の提供ができるとともに、待機児童解消の一助となりました。					
平成29年度事業予定と今後の課題	待機児童の状況を見ながら、引き続き、認可保育所の整備を進めます。							

事業番号	24	事業名	地域型保育事業の充実		担当課	保育幼稚園課	
事							
計画内容	市が家庭的保育者(保育ママ)を認定し、少人数の乳幼児を自宅などの家庭的な環境のもとで保育する家庭的保育事業を実施します。また、保育の質の確保や多様な保育ニーズにきめ細かく対応が可能である小規模保育施設の整備を進めます。						
	家庭的保育箇所数	平成25年実績	4箇所	平成29年目標	5箇所	平成31年目標	5箇所
	小規模保育箇所数	平成25年実績	0箇所	平成29年目標	1箇所	平成31年目標	4箇所
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成29年3月31日現在で、家庭的保育者(保育ママ)6人が各家庭(各定員5名)で、また、小規模保育施設1園(定員12名)で、0歳児から2歳児までの保育を実施しています。					
	実績値	家庭的保育箇所数	6箇所	予算額	2210千円	決算額	1,669千円
		小規模保育箇所数	1箇所				
評価	A	多様な教育・保育の提供ができるとともに、待機児童解消の一助となりました。					
平成29年度事業予定と今後の課題	待機児童の状況を見ながら、引き続き、地域型保育事業の整備を進めます。						

事業番号	25	事業名	公立幼稚園・認定こども園3歳児保育の実施		担当課	保育幼稚園課	
事							
計画内容	幼児期の学び環境を充実するため、公立幼稚園・認定こども園における3歳児保育を拡充します。						
	実施園数	平成25年実績	5園	平成29年目標	9園	平成31年目標	9園
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成28年度より、富岡幼稚園、北部認定こども園の2園で3歳児保育を開始し、実施園は合計11園になりました。					
	実績値	実施園数	11園	予算額	0千円	決算額	0千円
評価	A	実施園が増えたことで、3年間を通して地域の園に通園することができ、発達を見通した教育ができるようになりました。また、認定こども園で3歳児保育を実施することは、地域型保育事業の保育ママを卒業する子どもの受け入れ先となり、待機児童の解消にもつながっています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	今後については、子どもの人口の推移や保護者ニーズの状況を見ながら、3歳児保育保育実施に向けての検討をしていきます。						

事業番号	26	事業名	保育士資格取得支援補助金事業		担当課	保育幼稚園課	
基 事 計画内容	市内の認可保育園等における保育士資格を有していない保育従事者の保育士資格取得を支援します。						
	保育士資格取得者数	平成25年実績	—	平成29年目標	10名	平成31年目標	10名
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年度より「浦安市保育士資格取得補助金交付規則」を制定し、保育士資格取得者に対し講座受講費用、及び保育士試験の受験手数料の補助を行っています。平成29年3月31日時点では5名の申請があり、補助金の交付を行いました。					
	実績値	保育士資格取得者数	5名	予算額	1,459千円	決算額	156千円
評価	A	保育士資格取得者に対する補助金の交付を行いました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き保育士資格取得者に対する補助を行い、勤務する対象施設等における保育の充実を図り、子どもを安心して育てることができる体勢を整えていきます。						

事業番号	27	事業名	浦安市就学前「保育・教育」指針の推進		担当課	保育幼稚園課	
重 事 計画内容	保育園や幼稚園（認定こども園含む）のそれぞれのメリットを活かした質の高い保育・教育が受けられるよう、現場に“就学前「保育・教育」指針”の浸透・周知を図り、保育・教育の質の向上に努めます。また、「保育・教育」指針の見直しを行い幼児教育の充実に努めます。						
	指針に基づく質の高い保育・教育の実施	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	各園においては、本指針を活用して、質の高い保育・教育を実践しています。平成28年度5月の改訂作業開始から、改訂委員、学識者を中心に作業を進め、平成29年2月には就学前「保育・教育」指針改訂版発行の運びとなりました。平成29年2月28日には、就学前「保育・教育」指針改訂報告会を行い、市内各保育・教育施設関係機関に就学前「保育・教育」指針の改訂を幅広く周知をしました。					
	実績値	指針に基づく質の高い保育・教育の実施	推進	予算額	836千円	決算額	797千円
評価	A	指針を見直すことは、保育・教育の質を高めることにつながります。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年2月に改訂した就学前「保育・教育」指針改訂版を、各園の保育計画と実践に活かし、より質の高い保育・教育を目指していきます。今後は、改訂となる保育所保育指針、幼稚園教育要領の内容を視野にいれた見直しを継続的に行い、実践につながる就学前「保育・教育」指針として活用を促していきます。						

事業番号	28	事業名	幼・保・小・中連携教育推進事業	担当課	保育幼稚園課 指導課		
重 事 計画内容	幼稚園(認定こども園含む)・保育園と小・中学校が連携を強化し、教職員・保育士間の情報交換を図るとともに、子どもの発達や学びの連続性を大切にしたカリキュラムを作成し、滑らかな接続を図ります。						
	幼稚園・保育園と小・中学校の連携強化	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成28年8月に「幼・保・小・中連携教育担当者研修会」を開催し、講師による全体指導及び中学校区ごとの取り組み状況の確認・情報交換等を行いました。 8月の「幼・保・小・中連携の日」においては、中学校区ごとに研修会等を実施しました。 10月には「浦安市幼・保・小連携 アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」のリーフレットを市立幼稚園・認定こども園・保育園・小中学校の全教職員に配付しました。					
	実績値	幼稚園・保育園と小・中学校の連携強化	推進	予算額	329千円	決算額	329千円
	評価	A	「幼・保・小・中連携教育担当者研修会」を開催し、講師による全体指導及び中学校区ごとの取り組み状況の確認・情報交換等を行ったことで共通理解を図り、推進することができました。「浦安市幼・保・小連携 アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム」のリーフレットを配布するとともに学校訪問等で取り上げたことで周知を図ることができました。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	各校・園における異学年交流及び異校種等交流活動について調査し、実態を把握したことを周知し、さらに推進していきます。 接続期カリキュラムについて、各小学校には7月に、各園には12月に提出させ、状況を把握するとともに研修会等で情報交換等の時間を確保し、よりよいカリキュラムの編成に向けて支援します。						

(2)母子の健康保持・増進や小児医療体制の充実

事業番号	29	事業名	一時預かり事業の充実			担当課	保育幼稚園課	
事 計画内容	保護者の就労や病気などで家庭での保育が困難になった園児を幼稚園、幼稚園型認定こども園で一時的に預かります。 保育園などを利用せず、在宅で子育てをしている家庭を支援するため、認可保育園において一時保育を行うとともに、保育室ゆるりや明海つどいの広場などの施設において一時預かりを実施します。							
	幼稚園預かり保育実施箇所数(公立・私立)	平成25年実績	11箇所	平成29年目標	13箇所	平成31年目標	13箇所	
	認可保育園及び一時預かり専用施設での一時預かり実施箇所数	平成25年実績	9箇所	平成29年目標	12箇所	平成31年目標	13箇所	
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	(保)在宅子育て支援事業として一時預かりを認可保育園7園と幼保連携型認定こども園1園、保育室ゆるり、明海つどいの広場で実施しています。(平成29年3月末現在の利用状況(延べ人数) 東野保育園 1,507人 高洲保育園 1,509人 浦安駅前保育園 1,338人 しおかぜ保育園 852人 ホピンスナーサリースクール新浦安 1,720人 弁天保育園 1,925人 愛和元町保育園 2,271人 渋谷教育学園浦安こども園 1,093人 保育室ゆるり 2,179人 明海つどいの広場 1,977人 (幼)公立認定こども園8園及び私立幼稚園5園で実施しています。 (平成29年3月末現在の利用状況(延べ人数) 若草認定こども園 1,299人、みなみ認定こども園 1,307人、北部認定こども園 1,118人 堀江認定こども園 1,351人 美浜南認定こども園 1,832人、舞浜認定こども園 2,855人、美浜北認定こども園 2,265人、明海認定こども園 3,051人						
	実績値	幼稚園預かり保育実施箇所数(公立・私立)	13箇所	予算額	59,273千円	決算額	61,878千円	
		認可保育園及び一時預かり専用施設での一時預かり実施箇所数	10箇所					
	評価	A	(保)一時預かり事業の利用、特に私的理由での利用を希望される方が増えています。 (幼)一時的に保育が必要になった際の預け先として好評を得ています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	(保)一時預かり利用のニーズは増加傾向にあり、利用枠の確保が難しい状況ですが、平成29年度についてはホピンスナーサリースクール浦安が当該事業を開始することにより、より多くの市民の利用が可能になると見込んでいます。 (幼)平成29年度も同園で引き続いて実施していきます。利用率及び利用者数の確保が課題となっています。							

事業番号	30	事業名	理由を問わない短時間の一時預かり事業	担当課	保育幼稚園課		
基 事 計画内容	子育て中の保護者が、気持ちをリフレッシュし、子育てに対する閉塞感を和らげ、新たな気持ちで子育てに取り組めるよう、理由を問わずに短時間(3時間まで)利用できる一時預かりを幼稚園や旧第3職員住宅で行います。						
	実施箇所数	平成25年実績	—	平成29年目標	4箇所	平成31年目標	4箇所
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成26年度中に開設した富岡ルーム(富岡幼稚園内)及び日の出ルーム(日の出幼稚園内)に引き続き、平成27年4月より保育室アリエ(旧第三教職員住宅内)で事業を開始しています。利用者数については徐々に伸びてきており、事業内容等については、利用者からのアンケートを実施し、利便性を向上等に努めています。 平成28年度利用者数 富岡ルーム5,603名、日の出ルーム8,446名、アリエ2,527名(平成29年3月末現在) また、平成29年度に市立青葉幼稚園内に新たな施設を開設するための、改修工事に係る設計業務を実施しました。					
	実績値	実施箇所数	3箇所	予算額	28,768千円	決算額	27,381千円
	評価	A	利用者数については口コミ等で地域で認知され、徐々に伸びてきており、利用者から好評を得ています。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度については、青葉幼稚園において改修工事や開設準備を行い、新たな施設を開設する予定です。 今後についても気軽に理由を問わず預けることができる施設としての周知を引き続き行い、在宅での子育て家庭の支援を行っていきます。						

事業番号	31	事業名	病後児保育の充実	担当課	保育幼稚園課		
事 計画内容	病気回復期のため、集団保育が困難な生後57日目から小学校3年生までの子どもを対象に、病院や保育園に併設された施設で一時預かりを行います。						
	延べ利用者数	平成25年実績	449人	平成29年目標	685人	平成31年目標	686人
	実施施設数	平成25年実績	2施設	平成29年目標	3施設	平成31年目標	3施設
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	病後児保育事業の運営を市内3ヶ所の施設(浦安中央病院・ポピンズナーサリースクール新浦安・ポピンズナーサリースクール浦安)で行っています。 平成29年3月末現在、同事業の利用者は延べ552人で、施設別の内訳は、浦安中央病院病後児保育室「ばんだルーム」で延べ390人、ポピンズナーサリースクール新浦安病後児保育室「アクアルーム」で延べ86人、ポピンズナーサリースクール浦安病後児保育室「ポピンズルーム」では、延べ76人の利用がありました。 ※延べ利用者数は対象が拡大したため、小学校6年生までの数値					
	実績値	延べ利用者数	552人	予算額	18,118千円	決算額	18,118千円
	評価	A	実施施設数	3箇所	昨年度途中からポピンズナーサリースクール浦安で事業を開始し、利用者が増加しました。		
平成29年度 事業予定と 今後の課題	新たに順天堂大学医学部附属浦安病院において、病児保育事業を実施するために、施設整備等を進めていく予定です。						

事業番号	32	事業名	延長保育の実施		担当課	保育幼稚園課	
事 計画内容	保護者の就労形態や通勤時間により保育時間の延長が必要と認められる子どもに対し、認可保育園で早朝及び夕方の延長保育を実施します。						
	利用者数	平成25年実績	1,574人	平成29年目標	2,025人	平成31年目標	2,282人
	実施施設数	平成25年実績	18園	平成29年目標	24園	平成31年目標	24園
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年度より引き続き実施の認可保育所等32園(保育所24園・幼保連携型認定こども園1園・小規模保育事業所1園・地域型保育事業所6か所)に加え、4月から認可保育所1園が開園し、計33園にて延長保育を実施しています。 延長保育を実施する保育所等が増えたことにより、保護者の利便性が向上しています。					
	実績値	利用者数	2,417人	予算額	265,436千円	決算額	199,635千円
		実施施設数	33園				
評価	A	延長保育実施園が増えたことにより、保護者の利便性が向上しています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き33園で実施するとともに、開園予定の保育園を含め、今後も保護者の利便性向上を図っていきます。						

事業番号	33	事業名	休日保育の実施		担当課	保育幼稚園課	
事 計画内容	保育園に子どもを預けている保護者が日曜・休日に就労や病気などで子どもの保育ができない場合、私立保育園2園で休日保育を実施するとともに、保護者の利用状況などを踏まえ、休日保育の充実を検討します。						
	実施園数	平成25年実績	2園	平成29年目標	2園	平成31年目標	2園
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	私立保育園2園で休日保育を実施しています。 現在のところ、昨年度より利用者数は減少傾向にありますが、多様な就労形態に対応できています。					
	実績値	実施園数	2園	予算額	0千円	決算額	0千円
評価	A	継続して2園で実施しており、多様な就労形態に対応できています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き2園で実施するとともに、利用状況などを踏まえ、休日保育の充実を検討します。						

事業番号	34	事業名	エンゼルヘルプサーピスの実施	担当課	こども家庭支援センター		
計画内容	保護者が出産や病気などの際に、周りから支援が見込めない産後2か月までの子どもがいる家庭を対象に、保護者に代わって家事や育児支援を行うエンゼルヘルパーを派遣します。						
	延べ派遣件数	平成25年実績	1,385件	平成29年目標	1,500件	平成31年目標	1,500件
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	保護者が出産前後や病気などで家事・育児ができず、周囲の支援が十分にも込めない家庭に対し、エンゼルヘルパーを派遣しています。また、看護師資格を有する訪問コーディネーターが利用者の健康不安への相談や指導などをきめ細やかに実施しています。					
	実績値	延べ派遣件数	1,253件	予算額	7789千円	決算額	7290千円
		評価	A	利用しやすい料金設定や、サービスの質に関して、多くの利用者からの信頼が得られており、安定した利用件数を維持しております。			
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き継続して取り組んでいきます。						

事業番号	35	事業名	こどもショートステイの実施	担当課	こども課		
事 計画内容	保護者の病気や出産などの一時的な事情により、家庭での養育が困難な児童を保護者に代わり施設において保育します。						
	実施箇所数	平成25年実績	1箇所	平成29年目標	1箇所	平成31年目標	1箇所
	延べ利用日数	平成25年実績	23日	平成29年目標	241日	平成31年目標	239日
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	疾病、出産、看護などの理由で児童の養育が一時的に困難となった家庭の児童を一時的に施設等で保護する「こどもショートステイ事業」について、市川市の社会福祉法人「千葉ベタニヤホーム」に事業を委託して行いました。					
	実績値	実施箇所数	1箇所	予算額	2,046千円	決算額	1,803千円
		延べ利用日数	98日				
評価	A	平成28年度の利用実績 延べ18名 70泊と日帰り3日 利用希望者の意向や状況に合わせ、柔軟な受け入れを行うことができました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度より実施先を市川市内に変更し、利用しやすい環境を築けたことにより、利用人数が前年度より3倍以上増加し、より、身近に子どもを預けることができる親族や友人がいない市民にとってのセーフティネットとしての機能を果たすことができています。 平成29年度も引き続き受け入れを行っていくとともに、市内における当事業の実施に向けた施設及び運営について検討を行います。						

事業番号	36	事業名	ファミリー・サポート・センター事業の充実	担当課	こども課		
重 事 計画内容	育児の援助を受けたい人(おねがい会員)と育児の援助を行いたい人(まかせて会員)、両方とも希望する人(どっちも会員)が会員となり、会員相互の援助活動により子育て家庭の育児を応援します。また、病後児の預かりについても関係機関と連携しながら利用しやすい環境づくりを検討します。						
	おねがい会員数	平成25年実績	1,756人	平成29年目標	1,800人	平成31年目標	1,900人
	まかせて会員数	平成25年実績	299人	平成29年目標	320人	平成31年目標	340人
	どっちも会員数	平成25年実績	229人	平成29年目標	265人	平成31年目標	280人
	活動件数	平成25年実績	5,180件	平成29年目標	5,850件	平成31年目標	6,150件
	病後児保育延べ利用者数	平成25年実績	0人	平成29年目標	60人	平成31年目標	60人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	ファミリー・サポート・センターの運営を浦安市社会福祉協議会に委託しています。主な活動内容としては、保育所・幼稚園(こども園)の送り迎え及び帰宅後の預かり、学童保育の送り迎え及び帰宅後の預かり、買い物等の外出の場合の援助、保護者の短時間・臨時就労の場合の援助、保護者等の病気・その他急用の場合の援助などを行いました。					
	実績値	おねがい会員数	1,875人	予算額	14,012千円	決算額	12,974千円
		まかせて会員数	365人				
		どっちも会員数	198人				
		活動件数	6,198件				
病後児保育延べ利用者数	0件						
評価	B	おねがい会員、まかせて会員が年々増加しており、制度の周知が進み、浸透している成果だと思われます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	援助の担い手である「まかせて会員」については、おねがい会員に比べると伸び悩んでいますが、着実に会員数が増加しており、さらに特別まかせて会員(病後児・新生児の預かり等を行う)の会員数も増えています。今後は会員の確保に引き続き努めるとともに、登録会員の利用を促進する取り組みを行い、利用実績の増加を図ります。また、病後児保育の利用方法について検討を行う予定です。						

事業番号	37	事業名	託児保育者派遣事業	担当課	こども課		
計画内容	育児期間でも気軽に市の主催事業に参加し、学習などができるよう、子育て・家族支援者養成講座の修了生を託児保育者として登録し、市主催託児付き事業に参加する子どもを保育します。						
	派遣事業数	平成25年実績	18事業	平成29年目標	25事業	平成31年目標	25事業
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	子育て・家族支援者養成講座の修了生に託児保育者として登録してもらい、市主催の託児付事業(21事業、延べ71日)へ託児保育者を派遣しました。					
	実績値	派遣事業数	21事業	予算額	1,355千円	決算額	740千円
評価	A	託児保育付きの事業の実施により、育児中でも市の実施する事業に参加することが可能になり、子育て中の家族の育児支援や社会との関わりを持つ機会の確保、学習権の保障など様々な社会的効果が期待できます。さらに、子育て・家族支援者養成講座修了生の活動の場の保障につながっています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	市主催事業において保育を行うことにより、子育て中の家族の支援や社会との関わりを持つ機会の確保、学習権の保障を図ってきました。また、子育て・家族支援者養成講座の修了生の活動の場にもなり、目標の派遣事業数には届かないものの、着実に保育付き事業が浸透してきています。						

事業番号	38	事業名	公民館主催事業の保育の実施	担当課	各公民館			
計画内容	乳幼児を持つ保護者の学習権を保障するため、一時保育付の公民館主催事業を実施します。							
	保育実施事業数	平成25年実績	120事業	平成29年目標	132事業	平成31年目標	143事業	
高洲公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	1.事業数 15事業／延回数 66回 2.事業内容 ①簡単！たのしい食育クッキング(4回／14人)②パパと子のわくわくランド(3回／5人)③見直そう！わが家の防災対策(2回／18人)④赤ちゃん育児応援講座(4回／35人)⑤女性のココロと身体を整えるセミナー(4回／19人)⑥水彩画入門(5回／11人)⑦小学校家庭教育学級(1回／1人)⑧小学校家庭教育学級公開講座(1回／5人)⑨幼稚園家庭教育学級(9回／18人)⑩はじめての野菜づくり(22回／66人)⑪家庭教育講演会(1回／24人)⑫アンガーマネジメントを学ぼう(2回／12人)⑬韓国伝統工芸「メドゥプ」(2回／2人)⑭はじめての茶道(3回／14人)⑮食品ロスを減らすために(3回／7人) *カッコ内の人数は保育人数(251人)					
		実績値	保育実施事業数	10事業	予算額	969千円	決算額	523千円
		評価	A	子育て期の親の学習支援のため、公民館保育者による保育付き主催事業を実施し、多くの方に参加をいただきました。参加者からのアンケート結果でも「安心して講座に参加できる」など好評を得ており、一定の評価がなされています。				
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	子育て世代に学習機会を提供することは重要であり、引き続き子育て世代が楽しみながら、多くを学び交流できるよう保育付き主催事業の充実に努めるとともに、保育室を活用した親子事業の拡大を図ります。						
中央公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数:27事業予定・129回 ②実績内容:2歳児親子遊び教室(5回)・浦安小学校子育てミーティング(11回)・東小学校子育てミーティング(15回)・神明幼稚園子育てミーティング(9回)・若草幼稚園子育てミーティング(10回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なお父ママになるう～」(6回)・産前産後版子育てミーティング(11回)・魅力的な親になるう(3回)・「トータルビューティーライフ～私らしく輝くために、女性ホルモンを整える過ごし方～」(3回)・「トータルビューティーライフ～ベストパートナーになるために～」(3回)・日本語教室初級(9回)・日本語教室中級(9回)・文化祭実行委員会(4回)・エコカフェ@猫実(12回)・話し合いのコツをつかむ！ファシリテーター養成講座(2回)・うらやす子育てミーティング運営会議(5回)・ビジネスセミナー14(1回)・ビジネスセミナー15(1回)・ビジネスセミナー16(1回)・ビジネスセミナー17(1回)・消費生活センターコラボ事業「やさしく学ぶ食品表示入門」(1回)・幼い子をもつ女性のための！将来戦略！？わたしらしくイキイキと～振り返り(20回)・みんなDEエコ(3回)・働くママたちの頑張りすぎない職場復帰(5回)・働くママたちの頑張りすぎない職場復帰夫婦編(1回)・ニコべい教室(1回)・公民館人権講座(2回)を実施。保育人数680人					
		実績値	保育実施事業数	27事業	予算額	1,446千円	決算額	1,613千円
		評価	A	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育付きの主催事業を開催することは有意義なものと考えます。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」という声が多いです。また、保育される子どもの学びの場ともなっています。				
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度も引き続き、子育て世代の方々が様々な分野の講座に参加できるよう実施していきます。また、より深い学びとなるように連続講座に心がけていきます。ただし、10月以降は大規模改修のため協働事業以外は実施しません。						

堀江公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:25事業83回 実施内容:①女性セミナー(4月)(1回)・②毎日の食講座(1回)・③初めての金融講座(2回)・④人権講座(1回)・⑤女性セミナー(9月)(3回)・⑥郷土料理教室(1回)・⑦親子で秋の「押し花づくり・ネイチャークラフト」を楽しもう(1回)・⑧子育て支援パパママ応援(5回)・⑨文化祭実行委員会(4回)・⑩センスオブワンダー講座(1回)・⑪免疫力アップピラティス(2回)・⑫ジャーナリストと学ぶ大人の社会科(1月)(1回)・⑬味噌作り講座(1回)・⑭女性セミナーこころの安定のために(2月)(1回)・⑮いすで元気(1回)・⑯歴史講座(3回)・⑰ジャーナリストと学ぶ大人の社会科(2月)(1回)・⑱パンチ&キックエアロ(1回)・⑲免疫力アップピラティス(2回)・⑳小学校・こども園合同家庭教育学級(3回)・㉑小学校家庭教育学級(14回)・㉒こども園・幼稚園家庭教育学級(13回)・㉓おひさまクラブⅡ(18回)・㉔ジャーナリストと学ぶ大人の社会科(3月)(1回)・㉕こどものための春のつどい(1回)					
		実績値	保育実施事業数	25事業	予算額	1071千円	決算額	586千円
		評価	A	乳幼児を持つ親の学習権の保障のためには、主催事業に保育をつけることは有意義なものと考えています。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」などの声を聞いています。				
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、乳幼児を持つ親が安心して学習できる機会を持てるよう、保育付きの事業を実施していきます。						
富岡公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:6事業25回 実施内容:①富岡・見明川・浦安幼稚園合同家庭教育学級(10回)・②富岡・見明川・東野小学校合同家庭教育学級(8回)・③花の教室(1回)・④夏バテ解消ピラティス(4回)・⑤あがり症・話しベタ克服講座(1回)・⑥にこにこサンタさんと楽しいクリスマスパーティーをしよう(1回)					
		実績値	保育実施事業数	6事業	予算額	204千円	決算額	224千円
		評価	A	平成28年6月17日、リニューアルオープンに伴い主催事業を再開しました。 乳幼児を持つ保護者の学習機会を提供するために、保育付きの主催事業を開催することは必要なことと考えます。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」等の声を多くいただきます。また保育される子どもの学びの場ともなっています。				
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付き事業を実施していきます。						
美浜公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:11事業62回 実施内容:小学校子育てミーティング(20回)幼稚園子育てミーティング(16回)卓上インテリアにいかか?こけ玉づくりに挑戦しよう!(1回)郷土料理教室(貝むき)(1回)親子ドレミ教室(春)・(秋)(各5回)文化祭実行委員会(4回)人権講座Ⅰ「イフォメーションカフェ」(2回)人権講座Ⅱ「虐待～他人ごと?身近?一緒に考えませんか?」(3回)親子手話教室(4回)「おひなまつり」フラワーアレンジメント講座(1回)					
		実績値	保育実施事業数	7事業	予算額	644千円	決算額	401千円
		評価	A	保育があることで安心して参加することができ、学習時間、自分の為の時間が確保できるので保育付きの事業は有意義なものと考えられます。				
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施していきます。						

当代島公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>①実績件数:24事業・66回・保育人数255人 ②実績内容: 目指せ!ワンランク上の女性(3回)・イタリアンカルチャーin 当代島(2回)・太巻き祭り寿司講座(2回)・まちのパン屋さんと一緒にパンづくり(春)(1回)・文化祭実行委員会(1回)・貴方も今日から片付け達人だ!(2回)・北部小学校家庭教育学級(14回)・青葉幼稚園北部認定こども園家庭教育学級(3回)・草木染「藍」を体験しよう!(1回)・郷土料理教室(貝むき)(1回)・まちのパン屋さんと一緒にパンづくり(秋)(1回)・季節の和菓子作りを楽しむ(秋)(1回)・世界に一つしかないカシミアマフラーを手織り機で作ってみようⅡ(5回)・陶芸体験電動ろくろ講座(5回)・パッパクッキング(3回)・片付け講座(2回)・絵を見て知ろうクリスマスのお話(2回)・子育て支援講座(4回)・まちのパン屋さんと一緒にパンづくり(冬)(1回)・我が家の自慢のみそづくり(1回)・マネープラン(3回)・文化祭実行委員会(2回)・らくらく片づけ講座(3回)・大人のお絵かき入門(3回)を実施。</p>					
		実績値	保育実施事業数	19事業	予算額	833千円	決算額	757千円
		評価	A	就学前も子どもを持つ保護者の学習を支援するためには、保育つきの主催事業を開催することが必要と考えます。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できました」という声があります。				
	平成29年度事業予定と今後の課題	平成29年度も引き続き、子育て世代の方が様々な分野の公民館主催事業に参加できるよう計画していきます。						
日の出公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>①実績件数:16事業75回 ②実績内容: 中学校家庭教育学級(12回)、小学校家庭教育学級(8回)、幼稚園家庭教育学級(10回)、乳幼児家庭教育講座「ゆったり子育てのつぼ」(10回)、文化祭実行委員会(4回)、いきいきWOMANのためのYOGAリラクゼーション(3回)、これから始めたい人のための俳句入門講座(5回)、古典文学～三大随筆を読もう～(5回)、子育て講座「お母さんを楽しもう!」(1回)、日の出女性セミナー「更年期をさわやかに過ごすために一からだケア&ライフバランス」(4回)、これから始めたい人のための油絵教室(6回)、伝統文化事業「早春のしらべ」(1回)、ひなまつりスペシャルおはなし会(1回)、グローバルアカデミー～納豆は地球を救う～(3回)、青少年センター共催事業「思春期の子どもと親のかかわり」(1回)、子育て講演会～脳のしくみを知って賢く子育てしませんか～(1回)を実施。</p>					
		実績値	保育実施事業数	16事業	予算額	695千円	決算額	689千円
		評価	A	乳幼児を持つ保護者の参加を支援するためには、保育つきの主催事業を開催することは有意義なものと考えます。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」などという声が多いです。また、保育される子どもの学びの場ともなっています。				
	平成29年度事業予定と今後の課題	平成29年度も引き続き、子育て世代の方々が様々な分野の講座に参加できるよう実施していきます。						

事業番号	39	事業名	保育サービス評価事業(第三者評価)の実施		担当課	保育幼稚園課	
計画内容	保育園や認定こども園を対象に、千葉県に登録している評価機関に委託し第三者評価を平成27年度(5年に一度)に実施し、保育の質の向上を図ります。						
	第三者評価実施園数(5年に1度実施)	平成25年実績	12園 (H22年度)	平成29年目標	23園 (H27年度)	平成31年目標	32園 (H32年度)
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年度に実施し各保育園、保育幼稚園課窓口にファイルを設置し情報を開示しています。					
	実績値	第三者評価実施園数(5年に1度実施)	0園	予算額	0千円	決算額	0千円
評価	A	5年に1度の実施のため平成28年度は実施していません。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度は実施予定はありません。5年に1度のため次回は平成32年度です。						

3 次世代を担う子どもたちの教育、育成支援の充実

(1) 生きる力を育む学校教育環境の充実

事業番号	40	事業名	こども教育未来センター整備事業	担当課	教育政策課		
計画内容	平成23年3月に策定した「こども教育未来センター基本構想」に基づき、「浦安の子どもたちが、これからの未来に向かって夢を持ち、今を豊かに生きることができる環境づくりのための拠点」となる、こども教育未来センター整備に向け、教育研究センターの機能の充実や子ども子育て支援のために必要な機能や施設、設備等の調査・検討を進めます。						
	こども教育未来センターの整備	平成25年実績	調整会議4回 研修会2回	平成29年目標	調査・検討	平成31年目標	調査・検討
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	今後整備される「総合こどもセンター」に、教育研究センターの特別支援教育に関する相談機能(まなびサポート)の一部を入れるための調整を市長部局や教育委員会内で行いました。					
	実績値	こども教育未来センターの整備	会議4回	予算額	0千円	決算額	0千円
		評価	C	こども教育未来センター基本構想の計画地は、すでにこどもの広場(27.10.24オープン)として活用しているため、課題となっている現教育研究センターの機能強化や全市的な地域連携等を包括するネットワーク型のセンターとして整備することについて検討を進めることができました。			
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、教育研究センターの機能の充実や、子ども子育て支援のために必要な機能の望ましい配置について検討を進めます。						

事業番号	41	事業名	学校適正配置の推進	担当課	学務課		
計画内容	児童・生徒の豊かな学びの環境を整備するため、「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」に基づき、大規模校の増築や小規模校の統合など学校適正配置を検討し、推進します。						
	学校適正配置(小学校/中学校)	平成25年実績	18校/8校	平成29年目標	17校/9校	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成20年度に、平成21年度以降10年間の「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」を策定し、それにしたがって、入船地区の学校統合を含めた学校の適正配置を進めてきました。 平成29年度より、「浦安市における学校の適正配置計画(仮称)」(以下「適正配置計画」)の策定を開始し、平成30年度に完成させ、平成31年度以降10年間の学校適正化の指針としたいと考えています。 これは、「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」(以下「基本方針」)を基盤とし、学校配置の適正を見直すための根拠となるものです。これに従って、今後全市的な学校の適正配置を推進することとなります。 平成28年度は、第3次学校適正配置等準備委員会、作業部会及び事務局を組織し、「適正配置計画」を策定するための調査や研究を行い、来年度からの検討の方向性を協議しました。					
	実績値	学校適正配置(小学校/中学校)	17校/9校	予算額	150千円	決算額	90千円
		評価	A	第3次学校適正配置等準備委員会を3回開催し、文教大学教授葉養 正明先生を指導・助言者に迎え、学校適正配置についての指針をいただきました。また、教育委員会だけではなく、青少年課、保育幼稚園課、企画政策課、都市政策課から委員が参加し、それぞれの担当事業からの視点での意見を集めることができました。			
平成29年度 事業予定と 今後の課題	第3次学校適正配置等検討委員会を発足し、「(仮称)学校適正配置計画」の策定の準備を開始します。人口推計などを参考として市民の適正配置に関する見方を調査し、先進市の視察や調査も継続して行います。						

事業番号	42	事業名	少人数教育推進事業	担当課	指導課 学務課		
計画内容	子どもたちを少人数集団できめ細かく指導するために、市独自の少人数教育推進教員を全校に配置し、学校の実情に合わせて、チーム・ティーチングや少人数指導、習熟の程度に応じた指導など、わかる授業・できる授業づくりを推進します。また、少人数教育推進教員の研修会を行い、少人数教育の充実を図ります。						
	少人数教育推進教員人数	平成25年実績	63人	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	少人数教育推進教員研修	平成25年実績	6回	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(指導課) 県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導を行いました。 研修会を年間6回開催し、学校の実態に合わせて、チーム・ティーチングや少人数指導、習熟度に応じた指導など、わかる授業・できる授業の推進を図りました。また、各学期に実践計画書及び実践報告書を作成し、PDCAサイクルにより、個に応じた指導を計画的・継続的・効果的に取り組みました。 各学校では、少人数教育のねらいである「わかる授業・できる授業」の達成をめざして、学校の実態、校内環境、少人数教育担当教員の実態や教科特性などを踏まえ、工夫をして実施しました。</p> <p>(学務課) 市立小・中学校26校に、「少人数教育推進教員」を各1～3名配置しました。学校の計画に基づき、小学校には算数等、中学校は数学、英語、保健体育等の教員を配置し、少人数指導を行いました。また、少人数教育指導員が各学校を計画的に巡回し、少人数教育の充実や向上を図りました。</p>					
	実績値	少人数教育推進教員人数	50人	予算額	149,894千円	決算額	129,086千円
		少人数教育推進教員研修	6回				
	評価	A	<p>(指)少人数教育推進研修や少人数指導員の訪問指導を通して、チーム・ティーチングや少人数指導、習熟の程度に応じた指導など児童・生徒の実態に合った、わかる授業・できる授業づくりを推進することができました。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導を行うことができ、チーム・ティーチングから、習熟度別少人数指導を取り入れる学校が増加しました。</p> <p>(学)学校の計画に基づき、少人数教育推進教員を配置することができました。少人数教育指導員が各学校を計画的に巡回し、管理職や教員と協議をすることで、少人数教育の充実や向上を図ることができました。</p>				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	<p>(指)平成29年度は、少人数教育推進研修会の内容の充実、少人数教育指導員の学校の実態に応じた訪問指導の充実を図っていきます。 また、単元ごとや学習のねらいに応じた指導形態の工夫、効果的な指導方法、教員間の連携の仕方などについて検討していく必要があります。</p> <p>(学)学校訪問を行い、学校と連携をとりながら、限られた配置人数で効果的な少人数教育が行えるように、工夫改善を図る必要性があります。</p>						

事業番号	43	事業名	ふるさとふれあい教育活動推進事業			担当課	指導課	
計画内容	各学校に設立されている学校教育活動支援協議会が行う、学校と地域の協働による「地域とともに子どもを育てる学校づくり」「一人一人の個性が輝く学校づくり」「地域に信頼され、開かれた学校づくり」等の教育活動を支援します。							
	浦安市教育ビジョンの実現を支え、地域ぐるみで学校を支援する仕組みの充実	平成25年実績	推進	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実	
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	浦安市教育ビジョンの5つの「めざす子ども像」の実現を支え、市立各幼稚園・認定こども園、小・中学校が、「地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり」を推進することを目的として、各々が設定した事業主題に基づいた教育活動を展開しました。家庭・学校・地域が連携し、地域の特色にあった開かれた学校づくりをめざしました。(市立中学校9校、市立小学校17校、幼稚園・認定こども園14園に、計14,582千円を配当)						
	実績値	浦安市教育ビジョンの実現を支え、地域ぐるみで学校を支援する仕組みの充実	充実	予算額	14,600千円	決算額	14,582千円	
	評価	A	各園・学校の支援協議会がそれぞれが設定した事業主題に基づいた教育活動を展開しました。家庭・学校・地域が連携し、地域の特色にあった開かれた学校づくりをめざすことができました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	以下の「地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり」をさらに充実させていきます。 ①学校と地域の連携を進める事業 ②多様な体験学習を推進する事業 ③確かな学力育成のための事業 ④豊かな心・健やかな体をはぐくむ文化・芸術・スポーツの推進事業 ⑤教科領域研究指定事業 ⑥幼・保・小・中連携推進事業							

事業番号	44	事業名	ふるさとうらやす立志塾の開催	担当課	指導課		
計画内容	<p>重</p> <p>市立中学校の生徒会役員等を務める生徒を対象にし、宿泊を含む研修会において、政治、経済、教育、文化等の各分野で活動される方々と交流したり、体験活動や集団討議を行ったりすることにより、将来の浦安市のリーダーとして活躍する人材の育成をめざします。</p>						
	立志塾研修参加者数(総数)	平成25年実績	72人	平成29年目標	180人	平成31年目標	234人
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>平成28年度は市立中学校の生徒26人が参加し、主に夏季休業中の7、8月に全4回、6日間の研修を実施しました。1泊2日の宿泊研修を含む市内研修では、リーダーの講話やふるさと浦安学習、リーダースキルを学ぶ研修を実施すると共に、1泊2日の県外研修では、福島県を訪問し、中高生との交流やフィールドワーク等を実施しました。また、小学6年生を対象に、新たに「ふるさとうらやす自立塾」を開催し32人が参加しました。</p>					
	実績値	立志塾研修参加者数(総数)	152	予算額	3,101千円	決算額	2,363千円
	評価	A	<p>平成23年から開始した本事業は延べ152人の中学生が参加し、事業後には各学校のリーダーとして活躍しています。平成28年度は26人中13人が生徒会本部役員(内 生徒会長6人)として活躍しています。事後アンケートでは、学校生活で生かされている力として「意見の質が高まった」「広い視野で見られるようになった」「人前で話す力がついた」「決断力がついた」等の感想が見られました。新たに開催したふるさとうらやす自立塾では、長野県大町市において5泊6日の短期山村留学を実施しました。保護者対象の事後アンケートでは87%の保護者が自立について「効果的な活動である」(どちらかと言えば効果的も含めると100%)との評価があり、参加した児童からも「自分のことは自分でできるようになった」等の回答が多くみられました。</p>				
平成29年度事業予定と今後の課題	<p>○ふるさとうらやす立志塾</p> <p>平成29年度も、主に夏季休業中の8月～10月に研修を実施します。</p> <p>以下についてさらに充実させていきます。</p> <p>①これからの時代にあった資質・能力を育成するための研修</p> <p>②卒塾後の活動の活性化及び事業の成果を図るための、実態把握やネットワークづくり</p>						

事業番号	45	事業名	体力向上推進事業	担当課	保健体育安全課		
計画内容	<p>市立小中学校の体育指導の充実と児童・生徒の体力向上を図る取り組みを推進するため、研究推進校を指定します。また、各市立小中学校で策定する体力向上年間計画に基づき、保健体育科をはじめ、学校行事や部活動などを通じて、児童・生徒の運動に対する理解や体力の向上を図ります。</p>						
	研究指定校数	平成25年実績	11校	平成29年目標	8校	平成31年目標	8校
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>平成28年度は、小学校4校(南、入船、高洲北、美浜北)、中学校2校(明海、高洲)合計6校を指定しました。この「体力向上推進校」を中心として、すべての小・中学校において、体力向上推進計画をもとに体力向上の取組を実施しています。また、6校の研究実践の状況について資料による報告及び実践発表を行い、市内小中学校全体に成果を広めました。</p>					
	実績値	研究指定校数	6校	予算額	600千円	決算額	599千円
	評価	B	<p>浦安市の子どもの体力については、低下傾向に歯止めがかかっているといえるものの、全国平均と比較すると下回る種目が多くみられます。また、積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化の状況も見られます。</p>				
平成29年度事業予定と今後の課題	<p>引き続き、すべての市立小中学校において計画的に児童・生徒の体力向上の取り組みを実践するとともに、市が指定する「体力向上推進校」を核として積極的な実践交流を行い、実践の成果を市内全体に広げます。また、浦安市内中学校区ごとに体育科教育に関する課題と今後の取り組みについて検証し、意見交換の場を設けることで今後の実践の礎とします。</p>						

事業番号	46	事業名	生命や健康、性教育についての知識の普及推進	担当課	保健体育安全課		
計画内容	浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムとの整合性を図りながら、市立小中学校における生命や健康、性教育に関する保健学習を充実します。また、助産師や保健師、専門医などの活用による生命誕生や感染症予防、性被害防止に関する啓発や教育を推進するため、各市立小中学校におけるいのちの教育講演会や学校保健委員会への助成、並びに保健所など関係機関との連携を推進します。						
	保健学習実施校数	平成25年実績	26校	平成29年目標	26校	平成31年目標	26校
	学校保健委員会実施あるいはいのちの教育推進事業実施校	平成25年実績	26校	平成29年目標	26校	平成31年目標	26校
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>○性教育の推進 学校保健年間計画の保健教育に性教育の内容を位置づけ、学年の発達段階に応じた指導案及び資料に基づき、正課授業および特別活動等において計画的な指導を実施しました。</p> <p>○いのちの教育講演会の開催 いのちの教育推進事業に基づき、指定学年(基本は小学5学年、中学2学年)の児童生徒を対象に実施する「いのちの教育講演会」が各小・中学校の学校保健年間計画に位置付けられ、開催が定着してきています。 また、助産師、産婦人科医等の外部専門家の講師活用により、生命誕生や感染症予防に関する理解が深まりました。</p>					
	実績値	保健学習実施校数	26校	予算額	580千円	決算額	579千円
		学校保健委員会実施あるいはいのちの教育推進事業実施校	25校				
評価	A	保健学習(性教育・いのちの教育)については、全小・中学校で開催しました。					
平成29年度事業予定と今後の課題	児童生徒のいのちと心と体の健康推進に向け、専門家を活用したいのちの教育講演会や、学校の健康課題にあわせた学校保健委員会の開催に、引き続き取り組みます。						

(2)放課後児童の居場所づくり

事業番号	47	事業名	児童育成クラブの整備・充実	担当課	青少年課		
重 事 計画内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1～4年生までの児童と、6年生までの療育手帳などの交付を受けている特別な支援が必要な児童を対象に、放課後の生活の場を提供し、遊びなどを通じて健全な育成を図ることを目的として、児童育成クラブの運営を引き続き行います。また、入会児童の増加により既存のクラブによる対応が困難である場合には、小学校の余裕教室等の活用を第一に対応を図っていきます。						
	建物数	平成25年実績	28カ所	平成29年目標	32カ所	平成31年目標	32カ所
	利用者数	平成25年実績	1,603人	平成29年目標	2,017人	平成31年目標	1,894人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	入会児童数の増加に伴い、施設の狭隘化への対応を図るため、小学校の余裕教室などの活用を行い、待機児童が発生しないよう対応を図っています。また、子どもたちが利用する児童育成クラブ施設において、生活環境の改善を図るために、劣化や不具合などに対して、引き続き補修を行っています。					
	実績値	建物数	33カ所	予算額	705,648千円	決算額	677,387千円
		利用者数	2,082人				
評価	A	入会児童数の増加に伴い、児童育成クラブ施設の整備を行い、子どもと家庭を支援する子育て環境づくりに大きく寄与しています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	浦安小学校地区児童育成クラブ整備事業 南小学校地区児童育成クラブ等整備事業						

事業番号	48	事業名	児童育成クラブに係る評価事業の実施	担当課	青少年課		
計画内容	児童育成クラブの保育の質を向上するため、児童育成クラブに係る事業者自己評価及び利用者調査を実施します。						
	対象クラブ数	平成25年実績	18クラブ	平成29年目標	17クラブ	平成31年目標	17クラブ
	対象利用者数	平成25年実績	1,581人	平成29年目標	2,017人	平成31年目標	1,894人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	○事業者自己評価 市内の児童育成クラブ(17クラブ)の運営事業者に対して実施しました。 ○利用者調査 各児童育成クラブに入会している児童及びその保護者を対象に実施しました。					
	実績値	対象クラブ数	17クラブ	予算額	1,350千円	決算額	745千円
		対象利用者数	1,975人(予定)				
評価	A	平成29年1月に調査実施しました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	クラブを利用する児童とその保護者には、サービスについて日頃から感じていること等アンケート調査を実施し、結果を事業者にフィードバックするとともに、サービス向上に努めるよう指導しています。また、事業者が自己評価し、良い点や改善が必要な点を把握することにより支援の質の向上を図っています。						

事業番号	49	事業名	児童センター事業の充実	担当課	こども課 児童センター		
計画内容	東野児童センターと高洲児童センターの2か所で、遊びを通じた子どもの育ちを支援するための各種事業を行います。また、全市的に児童が利用しやすい環境を充実するため、学校の余裕教室の活用や公共施設の老朽化に伴う建替え時などの機会を捉え、児童センター機能の導入を検討します。						
	延べ利用者数	平成25年実績	90,724人	平成29年目標	91,000人	平成31年目標	91,000人
	新規児童センター機能の導入	平成25年実績	—	平成29年目標	検討	平成31年目標	検討
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(こども課) 放課後の児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供を行う場として、東野児童センター及び高洲児童センターの2ヶ所を開所しています。 また、新規の児童センター機能の導入にあたっては、未実施です。</p> <p>(児童センター) 乳幼児から18歳未満のこどもを対象に地域と連携して事業を実施し、様々な支援をしています。乳幼児の母親同士の交流の場や子どもが安心できる居場所づくりを目指し、家族一緒に参加できる環境を整え、利用者を見守っています。利用者の様子や相談などから、専門の担当部署につなげる役割も果たしています。</p>					
	実績値	延べ利用者数	89,889人	予算額	33,346千円	決算額	28,567千円
		新規児童センター機能の導入	検討				
評価	B	<p>(こども課) 中町及び新町地区には児童センターが設置されているが、元町地区の整備が実施できていない状況です。</p> <p>(児童センター) 子育て支援事業は定着しており、母親はネットで多くの情報を収集し、積極的に参加しています。こども健全育成事業は、様々な事業を実施しています。また、子育てに悩みを抱える母親、家族関係で悩むこどもたちに寄り添う支援をしています。</p>					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	<p>(こども課) これまで市内では、中町及び新町に2か所の児童センターを運営しており、元町地区の整備には至っていない状況であり、市民の方からは、元町地区への整備を望む声もあります。今後の児童センターの整備にあたっては、既存施設の大規模改修工事等の予定も見据え、放課後の居場所についての検討を引き続き行います。</p> <p>(児童センター) 児童センターを多くの人に周知してもらえるように働きかけ、人気のある事業は見直しをしながら継続し、また、新しいアイデアを考え利用者に楽しんでもらえるよう努めます。次年度は参加者が増えるよう充実した事業を実施します。</p>						

事業番号	50	事業名	放課後異年齢児交流促進事業の充実	担当課	青少年課		
計画内容	市内5小学校区において引き続き学校施設等を利用して児童の放課後の遊び場を確保するとともに、異年齢児間の交流やスポーツ、書道などの学習活動、各種工作などの体験を通じて、児童の健全な育成を図ります。また、未実施の小学校区においても通年または夏季休業期間中の実施を推進します。						
	実施校数	平成25年実績	5校	平成29年目標	14校	平成31年目標	17校
	延べ利用者数	平成25年実績	45,000人	平成29年目標	166,000人	平成31年目標	257,000人
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>学校施設等を利用して「遊び場」を確保し、異年齢児間の交流やスポーツ、書道などの学習活動、各種工作などの体験を通じて、児童の健全な育成を図っています。</p> <p>平成28年度は、既に実施しているの東小、南小、日の出小、明海小、入船小、北部小、富岡小の7校に加え、日の出南小、明海南小、美浜北小の3校の合計10校で通年実施したところであり、また、夏季休業期間中は、市内7小学校（浦安小、見明川小、美浜南小、舞浜小、高洲小、高洲北小、東野小）の全17小学校で実施いたしました。</p> <p>また、新たな取り組みとして、浦安駅近く（旧消費生活センター跡地）の施設を改修して「放課後児童交流センター」を10月にオープンしました。</p> <p>この施設は、放課後異年齢児交流促進事業の一環として実施したもので、駅前という立地を生かし、施設の終了時間を午後7時までとし小学校区にとらわれず市内の小学生であれば、利用できることといたしました。</p>					
	実績値	実施校数	17校	予算額	136,802千円	決算額	133,985千円
		延べ利用者数	84,754人				
評価	A	日常的な遊びだけでなく、工作やスポーツなどの様々なイベントなどの事業を開催し、充実した放課後の異年齢児間の交流を図っています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	市内17小学校のうち、通年実施の10小学校に加え、未実施校である7小学校の通年実施に向け、引き続き教育委員会等と協議を進めていきます。						

事業番号	51	事業名	青少年館・青少年交流施設事業の充実	担当課	青少年課		
計画内容	小学生から22歳以下の青少年が、自由に集い自主的に活動できる施設として「青少年館」の活用を図るとともに、中高校生向けの事業の充実を図ります。また、青少年の社会参加への意欲を創出するため、青少年交流施設（新浦安カルチャープラザ）において芸術・音楽・文化などの各種体験教室等を実施するとともに、青少年の自主的活動への積極的な支援を図ります。						
	青少年館延べ利用者数	平成25年実績	45,980人	平成29年目標	50,000人	平成31年目標	51,000人
	青少年交流施設延べ利用者数	平成25年実績	34,655人	平成29年目標	36,000人	平成31年目標	37,000人
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>（青少年館） 指定管理者の提案に基づき、管理運営を行っています。</p> <p>（青少年交流施設） 青少年の居場所作りとして、マーレ内3階部分に新浦安カルチャープラザを設置し、放課後や休日における青少年の活動・交流を中心として、芸術・音楽・文化をキーワードに、青少年が様々な活動に参加しやすい講座やイベントなど様々な事業を展開しています。</p>					
	実績値	青少年館延べ利用者数	64,740人	予算額	99,619千円	決算額	99,507千円
		青少年交流施設延べ利用者数	31,216人				
評価	A	（青少年館）指定管理者と協議し、適正な運営に努めています。 （青少年交流施設）引き続き、講座で使用していない部屋を無料で学習室として提供したり青少年広場の遊具を充実させるなど青少年が、気軽に集える空間を作り、利用促進を図っています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	<p>（青少年館）引き続き利用者増が見込めるような自主事業を展開し、施設の管理運営を行います。</p> <p>（青少年交流施設）引き続き施設の利用促進を図るため、青少年の居場所づくりなどを目的とした広場の管理運営を行います。</p>						

(3)子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実

事業番号	52	事業名	ふれあい体験「赤ちゃんとおそぼう」事業	担当課	児童センター		
重 基 計画内容	小学5・6年生、中学生、高校生が赤ちゃんにふれあい、赤ちゃんとの関わり方や育児について知る機会を充実します。また、助産師・上級思春期保健相談士を講師とし、命についての性教育を行います。						
	開催回数	平成25年実績	—	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	夏休み期間中に5回実施し(最終回は台風のため開催中止)、74名の小中高生が参加しました。赤ちゃんとその保護者はのべ191名。助産師と共に講義で使用するテキストを見直しました。命の大切さ、妊娠や出産、赤ちゃんの成長等を子ども達に伝え、主催事業「赤ちゃんサロン」で赤ちゃんとおそぼうしました。子ども達は、赤ちゃんの可愛らしさや育児の大変さを感じたようです。また、将来について考えるきっかけにもなっています。報告書を作成し、事業を周知するため館内に掲示しています。					
	実績値	開催回数	5回	予算額	693千円	決算額	315千円
	評価	A	普段関わることのない世代をつなぐことで、赤ちゃんと思春期の子ども、母親への相互理解が深まり、地域の子育て環境が良いものになると期待できます。受講した子ども達からは、将来赤ちゃんを産み育てたいという声が聞かれ、アンケートに質問や相談の記述が増え、関心の高さが伺えました。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	市内全小中高生に案内を配布したため、参加者が増えたので来年も多くの参加者を募ります。中高生や核家族の多い新町地域の参加を増やす工夫をし、講義内容や時間配分の検討をして更に充実した事業を目指します。また、台風等の非常事態の対処についても検討し、事業の円滑化を図ります。						

事業番号	53	事業名	ブックスタート事業の実施	担当課	中央図書館		
計画内容	出生届受理の際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを通わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。						
	講座参加率	平成25年実績	22.90%	平成29年目標	25%	平成31年目標	27%
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	出生届受理の際に配布した絵本は1,203冊で、配布率は88.8%です。毎月第2金曜日午後開催しているブックスタート絵本講座は、47回302組464人が参加し、参加率22.3%となっています。講座の開催時に、図書館利用券の発行をすすめ、継続的な図書館利用につなげています。					
	実績値	講座参加率	22%	予算額	785千円	決算額	784千円
	評価	B	目標値をやや下回りましたが、参加者が当日に図書館の利用券をつくり、継続的に図書館利用を始めるなどの効果がみられます。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、絵本の配布及び、ブックスタート絵本講座を開催していきます。大規模改修工事に向け、より親子が利用しやすい施設の検討を進めます。						

事業番号	54	事業名	子育て家庭向け図書館事業の充実	担当課	中央図書館		
計画内容	子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、資料の選定や紹介、読書相談、子どもと読書に関する研修の講師派遣などを行います。また、児童を対象とした集会事業や、子どもに関わる機会の多い大人を対象とした講座や講演会を実施します。						
	児童書貸出冊数	平成25年実績	458,004冊	平成29年目標	470,000冊	平成31年目標	480,000冊
	児童集会事業 延べ参加者数	平成25年実績	9,046人	平成29年目標	9,500人	平成31年目標	9,800人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	子どもの数の減少に加え、共働き家庭の増加のため、平日の貸出や行事(幼児向けのよみかかせなど)に減少傾向がみられます。そのため、平日は図書館に来られない保育園などに、園単位で図書館を利用してもらう働きかけを行っています。また、子育て関連の本や雑誌の案内資料の作成、配布を行い、利用の促進に努めています。					
	実績値	児童書貸出冊数	440,506冊	予算額	160千円	決算額	160千円
		児童集会事業 延べ参加者数	9,046人				
評価	B	図書館の基本的なサービスとして、日常的に取り組んでいます。家庭で読書に親しむことで、読書力の向上だけでなく、読書を通じた親子の交流が促進されることをめざします。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続きサービスを継続します。しかし、出生者数や児童数の減少もあり、目標の達成については難しい面も出ています。図書館利用の促進のため、子どもの生活の変化や保護者の要望をとらえながらサービスを進めていきます。						

事業番号	55	事業名	うらやすこども大学の実施	担当課	生涯学習課		
計画内容	市内在住の小学校4年生～5年生を対象に、市内の大学等と連携しながら、その専門性を活かして、子どもたちの「なぜ？」という探究心に可能な限り応え、未来の浦安を担う子どもたちを育成することを目的に開催します。						
	延べ受講者数	平成25年実績	266人	平成29年目標	350人	平成31年目標	500人
	修了者率	平成25年実績	95.60%	平成29年目標	100%	平成31年目標	100%
	他機関・団体との連携数	平成25年実績	3団体	平成29年目標	7団体	平成31年目標	10団体
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	8月に市内3大学(順天堂・明海・了徳寺大学)で授業を行いました。(了徳寺大学は台風で中止)9月は明治大学、10月は千葉大学の先生を講師に授業を行い、11月は千葉工業大学スカイツリータウンキャンパスの見学を行いました。9・10月の授業では、浦安高校の生徒にボランティアとして協力してもらいました。12月は市民プラザの大ホールで修了式と特別講演会として天気予報士の天達武史氏による講演を行いました。					
	実績値	延べ受講者数	237人	予算額	664千円	決算額	614千円
		修了者率	84.80%				
他機関・団体との連携数		7団体					
評価	B	未来の浦安を担う子どもを育成するという目的は、長い期間で評価していく必要があるが、延べ受講者数と修了率については昨年より減少してしまったため「B」としました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度も28年度と同程度の実施回数・人数で行う予定です。課題としては、9月から12月は他の事業と重なる日程になってしまい、欠席が多くなってしまいう回があるため実施時期については検討する必要があります。						

事業番号	56	事業名	子どもの自由な遊び場の整備	担当課	青少年課		
計画内容	子どもたちが伸び伸びと自由に遊び、様々な体験や交流を通じて創造性や自主性を育むことができるよう、高洲地区に「(仮称)こどもの広場」を整備します。また、第二湾岸道路未利用地についても、子どもの遊び場として有効活用できるよう引き続き検討を行います。						
	設置箇所数	平成25年実績	—	平成29年目標	1箇所	平成31年目標	1箇所
	第二湾岸道路未利用地の活用検討	平成25年実績	—	平成29年目標	検討	平成31年目標	検討
平成28年度実施状況と評価	実施状況	指定管理者の提案に基づき、管理運営を行っています。 また、利用者の利便性向上のため、平成29年1月より、送迎バスの運用方法を変更しました。					
	実績値	設置箇所数	1箇所	予算額	81092千円	決算額	74,593千円
		第二湾岸道路未利用地の活用検討	検討				
評価	A	指定管理者と協議し、適正な運営に努めています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続き利用者の利便性向上のため、施設の改修や利用方法等の検討を行います。						

事業番号	57	事業名	子育て家庭向け郷土博物館事業の充実	担当課	郷土博物館		
計画内容	郷土博物館において、幼児、児童、生徒を対象とした体験を通じて向学心を育むための様々な事業の充実を図ります。						
	事業数	平成25年実績	79事業	平成29年目標	80事業	平成31年目標	80事業
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○博学連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園: 博物館展示の見学・昔遊びや、べか舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。 ・小学校: 昔遊び・昔の生活体験、海苔すき体験、海苔簀織みなど。 ・中学生: 職場体験への協力など。 ○その他の事業 <ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びと生活体験: ベーゴマ、こま、竹馬、お手玉 ・体験教室: 勾玉づくり、竹細工教室、貝殻細工教室、お手玉・ねつけづくり教室、郷土料理教室、かまどの日イベント、ぼったら体験、境川乗船体験 など ・季節の行事体験: 七夕飾り、お月見、大掃除、餅つき、正月遊び、豆まき、オオカンケ 					
	実績値	事業数	83事業	予算額	14,267千円	決算額	13,598千円
		評価	A				
平成29年度事業予定と今後の課題	事業数に関しては、今後も同程度で継続していきたいと考えています。 また、事業内容については、今後も精査を行い積極的に改善をすることで、子どもをはじめとした、市民及び博物館利用者に対し、ふるさと浦安について学ぶ機会を提供していきます。						

事業番号	58	事業名	子育て家庭向け公民館事業の充実	担当課	各公民館			
計画内容	各公民館において、乳幼児親子・子どもを対象とした事業を企画・実施し、各種教室や交流事業を実施します。							
	事業数	平成25年実績	175事業	平成29年目標	186事業	平成31年目標	194事業	
	延べ参加者数	平成25年実績	17,899人	平成29年目標	18,400人	平成31年目標	18,950人	
高洲公民館	平成28年度実施状況と評価	実施状況	1.事業数25事業／延回数95回 2.事業内容 ①おはなしの森(8回)②おはなしのへやまめっちょ(11回)③おはなしのへやピッピ(10回)④県民の日クライミングウォールに挑戦(1回)⑤夏休みクライミングウォールに挑戦(2回)⑥夏休み子ども家庭科教室(1回)⑦夏休みこども環境講座(低学年)(1回)⑧夏休みこども環境講座(高学年)(1回)⑨県民の日エスレシアター(1回)⑩春休みエスレシアター(1回)⑪高洲児童センター共催事業夏休み子ども卓球大会(1回)⑫夏休み作文を楽しく学ぼう(1回)⑬夏休みハーモニカ教室(4回)⑭小学生クライミング体験会(21回)⑮クライミングウォールの一般開放(4回)⑯ビジネスキッズ隊ぼくたち・わたしたちの社会をつくろう(13回)⑰高洲児童センター共催事業赤ちゃん育児応援講座(4回)⑱高洲児童センター共催事業パパと子のわくわくランド(3回)⑲こども科学講座(光と水の科学マジック)(1回)⑳こども科学講座(天気のみみつ)(1回)㉑百人一首競技かるたの世界(1回)㉒春休みキッズレスンフラワーアレンジ体験(1回)㉓春休みクライミングウォールに挑戦(1回)㉔夏休みこども科学講座(低学年)(1回)㉕夏休みこども科学講座(高学年)(1回)					
		実績値	事業数	25事業	予算額	380千円	決算額	302千円
			延べ参加者数	1,511人				
	評価	A	絵本読み聞かせ、親子のふれあい遊びを通じた育児交流などの子育て支援事業や学校の長期休業日を利用した体験・交流事業、放課後の居場所づくりとして、施設の開放など継続した支援を行うことができました。					
	平成29年度事業予定と今後の課題	今後も、引き続き子どもの発達段階に応じた親子を対象にした情緒・交流事業を推進するとともに、放課後等の居場所づくり事業の充実に取り組みます。						
中央公民館	平成28年度実施状況と評価	実施状況	①実績件数と見込み件数:41事業196回 ②実績内容:1歳児親子遊び教室(5回)・2歳児親子遊び教室(5回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なパパママになろう～」キッズ講座(5回)・春休み科学遊び③(1回)・サマープレスクールin中央(1回)・「夏休み♪作ってあそんで地球をまもろう～いっしょにかんがえようエコのこと～」(1回)・「恐竜の気持ちになろう」(1回)・郷土博物館共催事業「郷土料理教室(海苔すき)」(1回)・郷土博物館共催事業「郷土料理教室(海苔巻きづくり)」(1回)・郷土博物館共催事業「わらざるりづくり体験」(1回)・バレンタインお菓子づくり(1回)・「かみしばいを作ろう」(2回)・サマースクールin中央①(1回)・サマースクールin中央②(2回)・なぞとき宝探し「脱出作戦!!」(1回)・春休み科学遊び①(1回)・春休み科学遊び②(1回)・浦安の素敵な事を考えてみよう(2回)・猫実キッズ和工房(2回)・中央公民館お泊り会in県民の日(1回)・中央公民館お泊り会insummer(1回)・車両基地を見学に行こう5(2回)・小学生版お助け英語(9回)・「恐竜について学ぼう」(1回)・サマースクールin中央エコ(1回)・「世界に一つのクリスマスリースづくり」(1回)・手作りハロウィンパーティー～仮装して集合～(1回)・夏休み映画会(2回)・鉄道模型を楽しもう(1回)・県民の日「こどもがつくるまち@猫実」(1回)・体育館夏休み子ども開放(6回)・体育館の一般開放(21回)・猫実ニュース探検隊(2回)・猫実子ども新聞をつくろう(6回)・こどもルームin中央(38回)・わくわく体験教室(20回)・科学って楽しいぞ♪(10回)・猫実@寺子屋(9回)・プレうらやす子ども起業塾(1回)・うらやす子ども起業塾(26回)・Japanスマイル中華レストラン(1回)					
		実績値	事業数	41事業	予算額	512千円	決算額	544千円
			延べ参加者数	5,402人				
	評価	A	主に、子どもの居場所づくり、また、社会性や表現力などこれから社会に出ていくために必要な事を学ぶ事を目的として開催しています。特に連続して参加する講座をし、子ども達がより深く交流し学べるよう心がけています。実際に起業体験ができる子ども起業塾も好評を得ています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	平成29年度も、引き続き、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していきます。さらに、連続講座に力をいれます。ただし、10月以降は大規模改修のため協働事業以外は実施しません。							

堀江公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	おひさまクラブⅠ・Ⅱ(41回)・親と子のずくぼんじょ(11回)・おはなしのへや「たけんこ」(11回)・「わらぞうりづくり体験」(1回)・子ども陶芸教室(2回)・夏休みおはなし会(2回)・子ども草木染体験(2回)・夏の科学遊び(2回)・子ども紙粘土教室(1回)・堀江のクリスマス会(2回)・子ども新春豆まき&お茶会(1回)・たいこをたたこう(1回)・堀江公民館キッズランド(22回)・堀江公民館県民の日イベント(2回)・人権講座(1回)・平和映画会(1回)・親子パン作り(1回)・小物作り体験会(1回)・魔法のひみつメディアアート体験(1回)・どんぐりクラフト(1回)・親子「押し葉づくり・ネイチャークラフト」(1回)・ジャーナリストと学ぶ大人の社会科(3回)					
		実績値	事業数	23事業	予算額	420千円	決算額	458千円
			延べ参加者数	3243人				
	評価	A	異学年交流や居場所づくりで、思いやりの気持ち、協力しあう気持ちなどが芽生えています。特に夏休みの事業は応募者も多く、子どもたちが楽しく学んでおり、居場所にもなっています。					
平成29年度事業 予定と今後の課題	引き続き、乳幼児親子・子どもを対象とした事業を充実していきます。							
富岡公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:10事業286回 事業内容:①親子で楽しむわらべうたと絵本の会(15回)・②県民の日子ども事業(4回)・③郷土博物館共催事業「わらぞうりづくり体験」(1回)・④夏休み子ども料理教室(2回)・⑤夏休み子ども茶道教室(2回)・⑥夏休み子ども環境講座(1回)・⑦こねこね石鹼粘土で遊ぼう(1回)・⑧平和映画会(1回)・⑨冬休み子ども映画会(1回)・⑩ふれあいコーナー(258回)					
		実績値	事業数	10事業	予算額	414千円	決算額	502千円
			延べ参加者数	2,350人				
	評価	A	平成28年6月17日、リニューアルオープンに伴い主催事業を再開しました。 体験や物づくり講座では、これからの成長段階に欠かせない思いやりや協調性を学び、思考力・創造性も身につけ、居場所づくり・交流の場としても好評です。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、子どもの居場所つくりのために、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業を実施していきます。							
美浜公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:26事業81回 大きな声でたのしく音どく(12回)、みはまミュージッククラブ(29回)、県民の日子ども事業「思いっきり」プレーパークin美浜(1回)、県民の日子ども事業「バウンドテニスをやってみよう」(1回)、思いっきり！プレーパークin美浜(春)・(秋)(各1回)、子ども夏まつり～美浜で夏を楽しんじゃお～(1回)、親子ドレミ教室(春)・(秋)(各5回)、親子でそば打ち～おいしいおそばを楽しく打ってみよう～(1回)、親子でそば打ち体験～自分で打ったそばを食べよう～(1回)、来てみて！遊ぼう！みはま缶(6回)、影絵劇場～幻想的な世界へようこそ～(1回)、影絵劇で遊ぼう(1回)、夏休み子どもミサンガ教室～手作り組みひもを楽しみましょう～(1回)、夏休み理科講座～“植物工場”ってなんだろう？～(1回)、夏休み子ども木工教室～コリントゲーム盤をつくって遊ぼう～(1回)、夏休み子どもグラウンドゴルフ教室(2回)、郷土博物館共催事業「わらぞうりづくり体験」(1回)、夏休み子ども事業「葉っぱでスタンプ！～葉っぱ図鑑を作ろう～」(1回)、親子でみる星空の宅急便in美浜～プラネタリウムで冬の星座を楽しもう～(1回)、親子手話教室(4回)、手作りお菓子でバレンタイン(1回)、新学期子ども家庭教室～自分だけの給食袋をつくろう～(1回)、春休み子ども映画会(1回)					
		実績値	事業数	22事業	予算額	804千円	決算額	620千円
			延べ参加者数	2791人				
	評価	A	子ども事業は、他課や地域との連携を心がけて行いました。子ども達も徐々に公民館に慣れ親しんできているように思われます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、子どもの居場所つくりのために、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していきます。							

当代島公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>①実績件数:20事業59回 ②実績内容:星空の宅配便in当代島(2回)・春の子ども環境(2回)・当代島将棋道場強化合宿3日間(3回)・夏の子ども環境講座(2回)・ミラージュボックス(1回)・夏休み子ども映画会(2回)夏休み子ども陶芸教室(2回)・夏休み子ども草木染(1回)・夏休み子ども工作教室(2回)・夏休み子ども科学(2回)・宿題やつつけろ会(5回)・消しゴムDeスタンプを作ろう(1回)・桃太郎気分で鬼退治(1回)・春のほしぞら宅配便(2回)・わらぞうりづくり体験(1回)・当代島軽スポーツクラブ(8回)・いざ出陣人間すごろく(1回)・春休み子ども科学(2回)・体育館の一般開放(17回)・夏休み子供向け体育館の開放(2回)</p>					
		実績値	事業数	20事業	予算額	380千円	決算額	384千円
			延べ参加者数	2,156人				
	評価	A	<p>子どもの居場所づくり、仲間づくり、そして協調性などを学ぶ事を目的として開催しています。子ども達が楽しく交流し学べるよう心がけています。</p>					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度に実施した主催事業を中心に、引き続き、乳幼児親子・子どもを対象とした事業を実施します。							
日の出公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>実施件数:25事業135回 実施内容:おひざでだっこのおはなし会(11回)、3歳・4歳のためのおはなし会(11回)、おはなしのへや(キンダー編)(11回)、ニイニのへや(11回)、夏休み子ども将棋教室…まずはルールから!!(3回)、県民の日子ども事業(1回)、(県民の日)キッズスタッフ募集(1回)、高洲公民館合同事業「ビジネスキッズ隊」～ぼくたち、わたしたちの会社をつくろう(13回)、ひのでこどもミニシアター(10回)、親子のくつろぎスペース「ほっこり」(11回)、夏のおいしいおはなし会(2回)、夏休みの宿題をやっつけろ!(5回)、夏休み子どもバルーンアート教室(1回)、わらぞうりづくり体験(1回)、お父さん出番ですよ「パパと一緒に休日ランチを作りましょう」(4回)、おやこdeはぐのび(10回)、クリスマス会(2回)、日の出・明海地区小中学校絵画展(1回)、夏休み子ども陶芸教室(4回)、子ども凧作り教室ー江戸だこを作って揚げよう(2回)、ひなまつりスペシャルおはなし会(1回)、日の出・明海地区小中学校書初め展(1回)、おやこリトミック(2回)、春休み子どもパーク(2回)、体育館の一般開放(14回)</p>					
		実績値	事業数	25事業	予算額	667千円	決算額	500千円
			延べ参加者数	3221人				
	評価	A	<p>子どもの居場所づくり、異年齢交流、社会性表現力などこれから社会に出ていくために必要な事を学ぶ事を目的として開催しました。子ども達がより深く交流し学べるよう心がけています。</p>					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度も引き続き、乳幼児親子・子ども対象事業の実施、内容の充実を図っていきます。							

事業番号	59	事業名	家庭・地域教育力を高める公民館事業の充実		担当課	各公民館		
重 計画内容	各公民館において、家庭教育学級や子育てをテーマとした講座の開催、子育てサークル同士の交流活動を推進します。また、地域住民や企業、NPO等と連携しながら、青少年の健全育成に向けた地域活動を推進します。							
	事業数	平成25年実績	49事業	平成29年目標	68事業	平成31年目標	77事業	
	延べ参加者数	平成25年実績	22,083人	平成29年目標	23,190人	平成31年目標	23,690人	
高洲公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	1.事業数9事業／延回数40回 2.事業内容 ①高洲児童センター共催事業「夏休み卓球大会」(1回)②ビジネスキッズ隊ぼくたち・わたしたちの社会をつくろう(10回)③幼稚園家庭教育学級(8回)④小学校家庭教育学級(8回)⑤家庭教育講演会(1回)⑥高洲児童センター共催事業「赤ちゃん育児応援講座」(4回)⑦高洲児童センター共催事業「パパと子のわくわくランド」(3回)⑧百人一首競技かるたの世界(1回)⑨春休みキッズレッスン「フラワーアレンジ体験」(1回)					
		実績値	事業数	9事業	予算額	350千円	決算額	315千円
			延べ参加者数	581人				
	評価	A	H28年5月に「家庭教育講演会」を開催し、87名の参加者に対し家庭教育の必要性や意義などを伝えた。参加者のアンケートでも前向きな感想が多数得られた。また、「赤ちゃん育児応援講座」では、子どもとのふれあい遊びを通して親同士の交流を深めることができました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	今後も、引き続き家庭教育力の向上のため、様々な機会を活用した家庭教育に関する学習活動や情報提供するため、家庭教育学級をはじめ各種事業を実施します。							
中央公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数と見込み件数:26事業163回を実施 ②実績内容:2歳児親子遊び教室(5回)・1歳児親子遊び(5回)・浦安小学校子育てミーティング(11回)・東小学校子育てミーティング(15回)・神明幼稚園子育てミーティング(9回)・若草幼稚園子育てミーティング(10回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なパパママになろう～」(6回)・産前産後版子育てミーティング(11回)・魅力的な親になろう7(3回)・「トータルビューティーライフ～私らしく輝くために、女性ホルモンを整える過ごし方～」(3回)・「トータルビューティーライフ～ベストパートナーになるために～」(3回)・幼い子をもつ女性のための！将来戦略！？わたしらしくイキキと～振り返り(20回)・働くママたちの頑張りすぎない職場復帰(5回)・働くママたちの頑張りすぎない職場復帰夫婦編(1回)・プレうらやす子ども起業塾(1回)・うらやす子ども起業塾(26回)・子ども起業塾運営委員会議(4回)・子育てママの文化祭！プリズムフェスタ2015(1回)・うらやす子育てミーティング運営会議(5回)・文化祭(2日間)・市民親睦囲碁大会(1回)・市民親睦将棋大会(1回)・猫実食堂(12回)・女性学講座(3回)					
		実績値	事業数	26事業	予算額	760千円	決算額	810千円
			延べ参加者数	7,156人				
	評価	A	子どもたちの健やかな成長と生きる力を育むため、親としての役割や家庭での子育てについて再確認すること、また、社会状況や子どもの発達段階における課題について、家庭ではどのような教育を行えばよいのか、講義やディスカッションを通して学び得た知識を家庭や地域に反映することと、仕事も子育ても夫婦関係も充実して生き生きと暮らしていくためにまず自分を一人の大人として見つめ直し、自分たちの生活・子育て親育ちについて向き合っていたり機会となりました。また、企画・運営に地域の方達に参加していただきより市民ニーズに近い学びを提供する事ができました。週末開催の講座では、未就学児のお子さんには保育、小学生にはキッズ講座をご用意しご家族みんなが公民館で過ごせるような講座にしております。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度は、さらに多くの地域の方に参加していただき、より市民ニーズにそった、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。ただし、10月以降は大規模改修のため協働事業以外は実施しません。							

堀江公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	こども園・幼稚園家庭教育学級(16回)・小学校合同家庭教育学級(17回)・子育て支援 パパママ応援!!(6回)・センス・オブ・ワンダー講座(1回)					
		実績値	事業数	4事業	予算額	260千円	決算額	160千円
			延べ参加者数	666人				
評価	A	連続講座で行うことで参加者の連帯感、つながりができています。また、子育ての悩みを共有したり、意見しあうことで視野を広げています。						
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、家庭・地域の教育力の向上を図る事業を充実させ、交流を図っていきます。						
富岡公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:7事業32回 実施内容:①富岡・見明川・浦安幼稚園合同家庭教育学級(10回)・②富岡・見明川・東野小学校合同家庭教育学級(8回)・③ランニング講座「美走塾」前期(6回)・④ランニング講座「美走塾」後期(5回)・⑤お父さんと科学をしよう(1回)・⑥子どもトールペインティング講座(1回)・⑦ハロウィンクッキーづくり(1回)					
		実績値	事業数	7事業	予算額	385千円	決算額	400千円
			延べ参加者数	570人				
評価	A	平成28年6月17日、リニューアルオープンに伴い主催事業を再開しました。 子どもたちの成長に合わせた、親の役割等の手助けになる育て方を講義やディスカッションを通して、学ぶ機会となりました。また、参加者同士の連帯感、つながりができたようです。年2回実施しているランニング講座では、毎回多くの参加希望をいただき、体力向上・異年齢交流の場として好評を得ています。						
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。						
美浜公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:14事業84回 小学校子育てミーティング(20回)、幼稚園子育てミーティング(16回)、人権講座Ⅰ「インフォメーションカフェ」(2回)、人権講座Ⅱ「虐待～他人ごと?身近?一緒に考えませんか?」(3回)、人権講座Ⅲ映画「さとにきたらええやん」(1回)、県民の日子ども事業「思いっきり」プレーパークin美浜(1回)、県民の日子ども事業「バウンドテニスをやってみよう」(1回)、子ども夏まつり～美浜で夏を楽しんじゃお～(1回)、みはまミュージッククラブ(29回)、思いっきり!プレーパークin美浜(春)(秋)(各1回)、みはま缶(6回)、学校連携事業(小小連携)「自分の価値観を見つけよう」(1回)、学校連携事業(美浜中学校)お笑い寄席(1回)					
		実績値	事業数	9事業	予算額	225千円	決算額	430千円
			延べ参加者数	2477人				
評価	A	子育て支援講座は、連続講座で行うことで参加者の連帯感、つながりができたようです。子育ての悩みを共有したり、意見交換しあうことで視野が広がってきているように感じます。また、地域連携として学校連携事業が実施できたことも大きな一歩となりました。						
	平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。						

当代島公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数:10事業32回 ②実績内容:北部小学校家庭教育学級(14回)・子育て支援講座(4回)・夏休みこども人形劇場(1回)・親子でクッキング(3回)・バドミントン親子deリフレッシュ(2回)・秋の青空おはなし会(2回)・親子フットサル体験教室(1回)・親子deスマイル似顔絵講座(1回)・親子deエンジョイバウンドテニス(3回)・いざ出陣人間すごろく(1回)					
		実績値	事業数	10事業	予算額	270千円	決算額	253千円
			延べ参加者数	447人				
	評価	A	家庭教育学級や親子で参加する事業など、家庭・地域教育力を向上や青少年の健全育成の事業を実施いたしました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度に実施した主催事業を中心に、引き続き、家庭・地域力の向上や青少年の健全育成を図っていきます。							
日の出公民館	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	実施件数と実施予定数:12事業71回 中学校家庭教育学級(12回)、小学校家庭教育学級(8回)、幼稚園家庭教育学級(10回)、親子のくつろぎスペース「ほっこり」(11回)、乳幼児家庭教育講座「ゆったり子育てのつぼ」(10回)、青少年センター共催事業「～思春期の子どもの心と親のかかわり～」(1回)、お父さん出番ですよ!～パパと一緒に休日ランチを作りましょう～(4回)、子育て講演会～脳のしくみを知って賢く子育てしませんか～(1回)、おやこdeはぐのび(10回)、子育て講座「お母さんを楽しもう!」(1回)、おやこリミック(2回)、お父さん出番ですよ!～お父さんと子どものパン作り教室(1回)					
		実績値	事業数	12事業	予算額	548千円	決算額	481千円
			延べ参加者数	967人				
	評価	A	子どもたちの成長に応じた親としての役割や子育てについて家庭ではどのような教育を行えばよいのか、講義やディスカッションを通して学び、実践する機会となりました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。							

事業番号	60	事業名	ジュニアリーダー・青少年リーダー育成の推進		担当課	青少年課	
重 計画内容	小学校4年生から6年生を対象に、リーダーとして必要な行動力・受容力・表現力を身につけていくことを目的とした研修を行います。また、主に中学生を対象に、青少年健全育成活動におけるリーダーの育成を行います。						
	ジュニアリーダー研修修了者数	平成25年実績	26人	平成29年目標	40人	平成31年目標	40人
	青少年リーダー会員数	平成25年実績	28人	平成29年目標	30人	平成31年目標	30人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○ジュニアリーダー研修会 リーダーとしての資質の向上を図り、必要な知識・技術を習得するための研修会を実施しています。</p> <p>○青少年リーダー講習会 研修を通じて青少年リーダーとして必要な技能を修得させ、体験活動の中から豊かな心を育み、リーダーとしての資質の向上を図ることで青少年健全育成活動におけるリーダーの育成を図っています。</p>					
	実績値	ジュニアリーダー研修修了者数	35人	予算額	1064千円	決算額	810千円
		青少年リーダー会員数	30人				
評価	A	<p>○ジュニアリーダー研修会 宿泊研修等様々な研修において、研修内容の自己評価を通じて、各児童とも目標である表現力・受容力・行動力について向上を図っています。</p> <p>○青少年リーダー講習会 受講者の継続した参加により、技能の修得やリーダーとして小学生を指導する姿も見られています。</p>					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	<p>○ジュニアリーダー研修会 今後も実施内容等を検討し、リーダーとして活躍できる子どもを増やしていきます。</p> <p>○青少年リーダー講習会 引き続き、プログラムの内容の改善を行いながら、リーダーの育成を図っていきます。</p>						

事業番号	61	事業名	青少年交流活動センター(うら・らめーる)の充実		担当課	青少年課	
計画内容	宿泊型の青少年教育施設「うら・らめーる」において、青少年の交流活動や団体生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、文化・芸術などの講座の充実を図ります。						
	延べ利用者数	平成25年実績	31,120人	平成29年目標	41,400人	平成31年目標	42,200人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	運営については、指定管理者の提案書に基づき運営されています。食事の改善など運営の見直しを図りました。					
	実績値	延べ利用者数	34,318人	予算額	62,566千円	決算額	62,444千円
		評価	A				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	施設利用者の増加はもとより、主催事業の実施時期を見直し利用促進を図ります。						

事業番号	62	事業名	青少年健全育成活動の推進	担当課	青少年課		
計画内容	子どもたちの豊かな育ちを支え、健全育成の推進を図るため、青少年相談員によるキャンプや少年親善スポーツ大会などの健全育成活動を推進します。また、市内で唯一、野外体験活動を行うことができる少年の広場での活動を推進するとともに、子どもたちが利用しやすい環境を整備・改善します。						
	相談員による活動の延べ参加者数	平成25年実績	1,176人	平成29年目標	1,500人	平成31年目標	1,500人
	少年の広場延べ利用者数	平成25年実績	3,355人	平成29年目標	3,500人	平成31年目標	3,600人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○青少年相談員 青少年健全育成事業として、少年親善スポーツ大会ドッジボール(6月)、夏のキャンプ(7月)、ブラックシアター発表会(10月)等を実施しました。また、相談員の研修として一日研修や学習会も実施しています。</p> <p>○少年の広場 青少年健全育成団体がより利用しやすくするため、整備しながら運営を行っています。また、自主事業を実施し、少年の広場利用促進等を図っています。</p>					
	実績値	相談員による活動の延べ参加者数	1,422人	予算額	5,578千円	決算額	5,072千円
		少年の広場延べ利用者数	2,613人				
評価	A	<p>○青少年相談員：参加者の募集方法や事業運営に関して、事業のフィードバックを行い、参加者のニーズを把握しながら事業の改善を図り、新たな意見を取り入れています。</p> <p>○少年の広場：施設については団体の利用に支障がないように整備されています。また、定期利用団体が確保できています。</p>					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	<p>○青少年相談員 4月たけのご掘り、6月少年親善スポーツ大会(ドッジボール)、7月夏のキャンプ、10月ブラックシアター発表会、2月スケート教室、3月頃体験学習を実施します。</p> <p>○少年の広場 市内で唯一、野外体験活動を行うことができる少年の広場での活動を推進するとともに、子どもたちが利用しやすい環境を整備・改善します。</p>						

4 すべての家庭が安心とゆとりを持てる子育て支援の充実

(1)障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援の充実

事業番号	63	事業名	障がい者福祉推進事業	担当課	障がい事業課		
事 計 画 内 容	支援を必要とする子どもが乳幼児期から成人期までのライフステージにおいて、一貫した支援を継続的に受けられるよう、サポートファイルを配布するとともに、希望者が入手しやすいよう配布場所を拡大します。また、発達支援セミナーをはじめとした講演会の開催や地域への啓発活動を実施します。						
	サポートファイル配布数	平成25年実績	117冊	平成29年目標	150冊	平成31年目標	150冊
	講演会参加者数	平成25年実績	232人	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	サポートファイルの配布場所を市内の相談支援事業所にも拡大し、イベントや講演会等でも周知を図りました。さらに活用の充実を図るため、自立支援協議会等でサポートファイルの改善について検討を進めています。また、平成28年11月22日に「思春期から就労時期にかけて、働くために必要なこと」というテーマで発達支援講演会を開催しました。					
	実績値	サポートファイル配布数	76冊	予算額	2,528千円	決算額	2,435千円
		講演会参加者数	119人				
評価	A	配慮を必要とする子どもへの支援の充実と、発達障がいへの理解の促進が図れました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成27年度から28年度にかけて自立支援協議会等で検討した成人用サポートファイルの配布を推進するとともに、サポートファイルの活用が充実されるよう、関係機関との連携を図ります。また、発達障がいの理解と支援の推進のため、様々なニーズにあった講演会の開催や地域への啓発活動を実施します。						

事業番号	64	事業名	こども発達センターの充実	担当課	こども発達センター		
重 事 計 画 内 容	発達に心配のある子どもとその保護者を支援するため、発達段階に応じてグループや個別での専門的な相談・療育を行うとともに、児童発達支援センターとして保育所等訪問支援など地域に対する支援事業を行います。						
	児童発達支援利用数	平成25年実績	54人	平成29年目標	50人	平成31年目標	H29年度設定
	保育所等訪問支援利用数	平成25年実績	—	平成29年目標	5人	平成31年目標	H29年度設定
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○児童発達支援利用実績 子:実数 54人・延数4,366人親:実数 20人・延数 1,146人 ○個別相談実績 外来:延数 8,316人・児童発達支援:延数 821人 ○カンファレンス 外来: 延数 212人児童発達支援: 延数 111人 ○土曜日利用実績 相談日数:23日 延数: 1,206人 ○保育所等訪問支援事業実績 人数: 5人 訪問回数:69回 ○地域機関電話相談・訪問相談実績:依頼園 17園 相談実人数 33人 電話相談 24回 訪問相談 59回 ○こども発達相談件数 422件 専門相談実施件数 252件 初回アセスメント件数 154件 継続相談 128回 ○計画相談実績: 新規・再作成件数 115件 モニタリング件数 81件 					
	実績値	児童発達支援利用数	54人	予算額	133,038千円	決算額	119,060千円
		保育所等訪問支援利用数	5人				
評価	A	地域療育の中核施設として、心身の発達に心配や遅れのある子ども達が将来地域の中で自立して暮らしていける基盤づくりを目標に、療育体制の整備・充実を進めています。今後も子どもへの発達支援と併せ、家族への支援、地域の中で支えていくための支援を直接的に実践していくとともに、日常生活の場でも同様の支援が受けられるよう地位療育力の底上げ・向上を目指した取り組みを推進していきます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	1才6か月健診において、超早期療育が望ましいと思われた子どもに対し、アーリースタートデンパーモデルによる療育プログラムを実施します。29年度については当センター専門職が、市内民間事業所療育担当者とともに実施していく予定で、今後の実施方法の検討と併せて超早期療育の手法を習得する療育担当者の育成が急務となっています。						

事業番号	65	事業名	保育園、児童育成クラブの利用支援の充実		担当課	保育幼稚園課 青少年課	
事	保育園や児童育成クラブの利用において、障がいの種類や程度にあった支援の充実を図ります。						
計画内容	公立保育園要支援児童数(通年)	平成25年実績	72人	平成29年目標	80人	平成31年目標	80人
	児童育成クラブ要支援児童数(通年)	平成25年実績	73人	平成29年目標	80人	平成31年目標	80人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	(保) 公立保育園では集団生活が可能で49人(うち手帳所持者は5人)の障がい児の受け入れを行っています。 (青) 児童育成クラブでは、入会を希望する特別な支援が必要な児童を受け入れていません。 平成29年3月末現在、支援員(支援児加配)が必要な児童は、17クラブで47人(うち手帳所持者16人)が入会しています。					
	実績値	公立保育園要支援児童数(通年)	49人	予算額	8111千円 (保育幼稚園課分)	決算額	12,091千円 (保育幼稚園課分)
		児童育成クラブ要支援児童数(通年)	47人				
評価	A	(保) 公立保育園では基本的に全園障がい児の受け入れを行っています。 (青) 全ての児童育成クラブで、入会を希望する特別な支援が必要な児童を受け入れていません。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	(保) 引き続き障がい児の受け入れを行っていきます。加配児以外にも援助・配慮が必要な児童が多くなっている現状の中で、どうクラス運営を行っていくのか、また、保育士不足の中で職員間でどう連携を取って保育をしていくのか、加配児の発達を促す関わりを行うための職員の研修による資質向上など課題は多くあげられます。 (青) 特別な支援が必要な児童の入会希望が増加傾向にあるため、引き続き、全ての児童育成クラブにおいて、特別な支援が必要な児童を受け入れできるような体制を整えていきます。						

事業番号	66	事業名	まなびサポート推進事業	担当課	指導課		
重 事 計画内容	特別な教育的支援が必要な幼児、児童、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援が行われるよう、医師を含むまなびサポートチームの職員による訪問や相談活動を行います。また、関係機関と連携を図りながら園・学校における療育・教育情報の引き継ぎを円滑に行い、個別の教育支援計画、指導計画を作成するとともに、サポートファイルうらやすを活用して切れ目のない支援を推進します。						
	個別の指導計画	平成25年実績	513人	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	個別の教育支援計画	平成25年実績	259人	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	個別の相談回数	平成25年実績	485回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	園・小・中学校の訪問回数	平成25年実績	834回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	①個別相談(保護者からの相談:件数・回数) ②訪問相談(園、学校からの相談:件数・延べ日数) 幼稚園・認定こども園 65件 168回 幼稚園・認定こども園 112件 82日 保育園 28件 76回 保育園 81件 72日 小学校 114件 201回 小学校 279件 529日 中学校 23件 40回 中学校 45件 140日 その他 6件 17回 ③就学相談回数 333回 ④まなびサポートチーム 医師・スーパーバイザーへの相談 今年度も医師とスーパーバイザーをまなびサポートチーム員に加え、相談活動を行いました。 就学相談 35件 通級指導教室 26件 園・学校支援その他 5件					
	実績値	個別の指導計画	424人	予算額	27,962千円	決算額	27,408千円
		個別の教育支援計画	165人				
		個別の相談回数	502回				
園・小・中学校の訪問回数		905回					
評価	A	就学前から就学後まで途切れることなく一貫した支援を行っています。個別相談の内、保護者、園・学校、まなびサポートの三者での相談は308回行いました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	本市の特別支援教育を充実させるために、まなびサポート事業を推進し、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援が行えるよう、幼稚園・認定こども園・保育園、小中学校への訪問相談や就学相談を中心とした相談活動体制の充実を図ります。園・学校における個に応じた支援や合理的配慮の提供に向けて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成を推進していくとともに、必要な支援について、確実に引き継ぎを行っていくことが課題となっています。						

事業番号	67	事業名	特別支援教育の推進	担当課		指導課	
事 計画内容	特別支援学級、通級指導教室、通常の学級などにおいて、特別な教育的支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育や指導の実現を図ります。また、特別支援学級の教科学習の充実、他機関と連携した園、校内体制づくり、担任と補助教員・支援員の連携などにより、特別支援教育についての理解を深め、指導力向上に向けた教員研修の充実を図ります。						
	特別支援学級設置校数	平成25年実績	15校	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	配置支援員数	平成25年実績	16人	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	担任・担当者・コーディネーター研修回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	補助教員・支援員研修回数	平成25年実績	13回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○特別支援学級、通級指導教室での指導の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の教育的ニーズに合わせた教育課程の編成、「道徳」の時間の授業づくりについて、通級指導教室での具体的な指導について、通常の学級との交流及び共同学習の推進について研修会等で指導・助言することができました。 富岡中学校に特別支援学級を開設しました。 千葉盲学校サテライト教室を教育研究センター内に開級し、見えに課題がある児童に対する指導、支援を図りました。 <p>○特別支援教育についての理解の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の充実を図るため、市内全小中学校で「共に学びあうための特別支援教育～合理的配慮の視点から～」についての研修を行い、教職員に合理的配慮の提供について具体的に事例を紹介し、理解を深めました。 <p>○校内支援体制の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーター研修会や巡回研修を行うことで、特別支援教育コーディネーターを中心に全教職員で児童・生徒を支援できるような校内支援体制の整備を進めました。 					
	実績値	特別支援学級設置校数	19校	予算額	31,162千円	決算額	27,773千円
		配置支援員数	18人				
		担任・担当者・コーディネーター研修回数	12回				
補助教員・支援員研修回数		13回					
評価	A	富岡中学校に特別支援学級を開設したり、千葉盲学校サテライト教室を開級したり、多様な学びの場を充実させることができました。全小中学校で巡回研修を行い、合理的配慮の提供について教職員に周知・理解を図ることができました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	全小中学校への特別支援学級の設置や、通級指導教室の整備について、ニーズの確認や余裕教室の状況等の調査を行い、堀江中学校に特別支援学級、富岡小学校と明海中学校にLD・ADHD等通級指導教室を開設します。児童生徒の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に向けて、特別支援教育を推進していく教職員の育成が課題となっています。						

事業番号	68	事業名	福祉用教材及び学校設備の充実	担当課	指導課		
計画内容	特別な教育的支援を必要とする子どもの教育環境の向上に向け、福祉用教材の促進、教材の充実、学校設備等の充実を図るとともに、学習支援室の活用を進めていきます。						
	学習支援室の活用	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○特別支援学級・通級指導教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童・生徒の教育環境の向上に向け、福祉用教材の活用・促進、学校の設備・備品の整備などを行いました。特に今年度開級した千葉盲学校サテライト教室については、児童の指導に適した教材・教具や備品の充実を図りました。 ・今年度開級した富岡中学校特別支援学級と学級増の浦安小学校特別支援学級については、児童の教育的ニーズを考慮した環境を整備するための備品の充実を図りました。 <p>○学習支援室の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の教育的ニーズに応じた個別学習や少人数学習などを行うことを目的とし、小・中学校に整備を進めてきました。平成27年度、全小・中学校26校に学習支援室を整備・設置を完了しました。 					
	実績値	学習支援室の活用	100%	予算額	2,268千円	決算額	2,199千円
	評価	A	<p>特別支援学級と通級指導教室の生活・学習環境を整備することで、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに対応した指導支援の充実を図ることができました。</p> <p>学習支援室については、落ち着いた環境の中で、情緒の安定を図り、個に応じた学習を進める上で役立っています。</p>				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	インクルーシブ教育システム構築に向け、適切な合理的配慮の提供ができるよう特別支援教育を推進するとともに、子どもの教育的ニーズに応じた設備・教材・教具の充実に向けた基礎的環境整備を行います。特別支援学級や通級指導教室、また学習支援室の効果的な活用を促進し、多様な学びの場の充実を図ります。						

事業番号	69	事業名	青少年サポート事業	担当課	障がい事業課		
計画内容	発達障がいや発達障がいの疑いがある学齢期以降の子どもの支援を充実するため、専門性の高い相談や療育支援を行います。						
	利用者実人数	平成25年実績	—	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	学齢期から概ね25歳までの発達障がいの方、発達が気になる方を対象として、専門性の高い相談支援や療育支援を行いました。また、平成28年度より、登録者以外の方も参加できるペアレント・トレーニングを開催しました。学校訪問や事業所への訪問など、地域の支援力の底上げにも引き続き取り組みました。					
	実績値	利用者実人数	281人	予算額	32,000千円	決算額	32,000千円
	評価	A	交流事業や地域支援の成果により、登録者が増加しています。発達障がいや発達障がいの疑いがある学齢期以降の子どもへの支援の充実が図れました。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き療育支援、相談支援、交流事業、地域支援を実施し、発達障がい児・者に対する理解と、支援力の向上に努めます。						

(2)子どもの権利擁護や児童虐待対策の強化

事業番号	70	事業名	DV被害者に対する支援の充実		担当課	企画政策課 (男女共同参画センター)	
計画内容	女性が抱える様々な問題について相談者が自ら解決できるよう、専門家による相談を実施します。また、DVについて情報提供や啓発を行うため、「DV相談支援カード」やDV被害者の自立に向けた支援をまとめた「DV被害者ガイドブック」の発行などを行うとともに、DV被害者の自立を支援する民間団体への援助を行います。						
	延べ相談件数	平成25年実績	661件	平成29年目標	840件	平成31年目標	840件
	DV相談支援カード発行数	平成25年実績	—	平成29年目標	5,000枚	平成31年目標	5,000枚
	DV被害者ガイドブック	平成25年実績	500部	平成29年目標	500部	平成31年目標	500部
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>「女性のための相談」を実施するとともに、DVに関する情報提供を行いました。その他、ステップハウスを運営する民間団体への支援を行いました。</p> <p>また、DV啓発リーフレット「暴力に沈黙しないで」を作成し、関係各所へ配布しました。</p> <p>発行数:2,000部</p> <p>「女性のための相談」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ相談件数:595件(平成28年4月～平成29年3月末実績) 					
	実績値	延べ相談件数	595	予算額	4,123千円	決算額	4,121千円
		DV相談支援カード発行数	0				
		DV被害者ガイドブック	0				
評価	A	「女性のための相談」ではDV等の緊急ケースに対応できるよう直近相談枠の確保を引き続き行っています。また夜間相談も継続して行っています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続きDV相談支援カードなどによる相談窓口の周知を行っていきます。また、ステップハウスを運営する民間団体への支援を実施します。DV被害者への支援充実と安全確保を図るため、今後も関係部署との連携強化が重要になります。						

事業番号	71	事業名	児童虐待を早期発見するための啓発活動の推進		担当課	こども家庭支援センター こども課	
重 事 計画内容	児童虐待を受けた可能性がある子どもを発見した場合などの相談受付となる子ども虐待ホットラインの周知を図るとともに、関係機関向けに児童虐待に関する研修会などを行い、児童虐待の防止や早期発見に努めます。また、子ども自身の児童虐待への気づきを促すため、児童福祉週間の時期に合わせ、新小・中学校1年生にリーフレットを配付します						
	研修会・講演会回数	平成25年実績	4回	平成29年目標	4回	平成31年目標	4回
	ホットラインPR用チラシ配布数	平成25年実績	4,500枚	平成29年目標	5,000枚	平成31年目標	5,000枚
	子ども版リーフレット配布数	平成25年実績	3,500枚	平成29年目標	3,500枚	平成31年目標	3,500枚
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	(こども家庭支援センター)市民祭りや駅前でのキャンペーン活動を通じて、子ども虐待ホットラインの電話番号を記したチラシ・カードの配布を行ったほか、広報うらやすで特集号を組み、子育てに悩む保護者には、悩みを抱えたらすぐに相談することを市のメッセージとして伝えました。 (こども課)児童虐待から子どもを守るための児童虐待予防と防止に関する施策の推進を目的とした「浦安市の子どもをみんなで守る条例」の周知及び子どもに対する児童虐待の知識普及や啓発を目的とした子ども向けリーフレットを5月5日のこどもの日に合わせ、全公立小・中学校新入生に配布しました。					
	実績値	研修会・講演会回数	6回	予算額	398千円	決算額	518千円
		ホットラインPR用チラシ配布数	4,500枚				
子ども版リーフレット配布数		3040枚					
評価	A	(こども家庭支援センター)市民や関係機関への認知が図れたことで、気になる家庭についての相談が多くこども家庭支援センターや市川児童相談所に寄せられています。 (こども課)子ども向けリーフレットの配布により、子どもにも児童虐待について知る機会を設けたことで、子どもから大人まで広く本条例と児童虐待の防止について周知と啓発が図れました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	(こども家庭支援センター)市民や関係機関による児童虐待の理解は進みつつあることから、虐待行為をしてしまう親が相談しやすい環境整備や啓発に努めます。 (こども課) 今後も子ども対象にリーフレット等で啓発を行うことで、子どもに児童虐待について知る機会を与えることができ、児童虐待の予防や早期発見などに努めていくとともに、知識の普及及び啓発を目的に継続していきます。						

事業番号	72	事業名	家庭児童相談の充実		担当課	こども家庭支援センター	
重 事 計画内容	地域で安心して子育てができる環境づくりや児童虐待防止の強化を図るため、家庭相談員が子どもと家庭に関する様々な相談に総合的に対応します。						
	延べ家庭児童相談件数	平成25年実績	11,043件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	地域で安心して子育てができる環境づくり、また、児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応しています。					
	実績値	延べ家庭児童相談件数	継続	予算額	9045千円	決算額	8001千円
		評価	A	児童虐待の相談だけでなく、家庭環境が影響していると思われる不登校や非行の問題までを幅広く対応しています。			
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、きめ細やかな対応に努めます。						

事業番号	73	事業名	養育支援訪問事業の充実		担当課	こども家庭支援センター	
事 計画内容	児童虐待防止や予防に取り組むため、育児不安や育児ストレスがある家庭、特定妊婦、問題を抱えた家庭に対して、訪問を行い、助言や指導を行います。						
	延べ訪問世帯数	平成25年実績	167世帯	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	養育力の不足している家庭に訪問を行い、育児に関しての助言を行うほか、産前より支援を行っている妊婦の出産後には、家庭内で沐浴など実際に養育の手技をやって見せるなどの支援を行っています。					
	実績値	延べ訪問世帯数	291世帯	予算額	446千円	決算額	473千円
		評価	A	地域の特性上、近隣に支援が期待できる親族や知人がいない家庭も多いことから、保護者に具体的な育児手技の提示や社会資源の紹介を行うことで、ケースに寄り添った対応が行われています。			
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、きめ細やかな対応に努めます。						

事業番号	74	事業名	要保護児童対策地域協議会の充実	担当課	こども家庭支援センター		
重 事 計画内容	要保護児童対策の充実のため、関係する機関の代表者会議、実務者会議を通じて円滑な情報交換を行い、個別の支援ケースに関してより細やかな支援を行います。						
	代表者会議開催回数	平成25年実績	2回	平成29年目標	2回	平成31年目標	2回
	実務者会議開催回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	12回	平成31年目標	12回
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	定例の実務者会議だけでなく、随時開催の個別支援会議を前年同様、月に数回の頻度で開催しています。					
	実績値	代表者会議開催回数	2回	予算額	144千円	決算額	117千円
		実務者会議開催回数	12回				
評価	A	前年同様、個別支援会議を多く開催することにより、個別の支援ケースに関して、より細やかな対応協議が図れるだけでなく、担当者間での意思疎通でき、対象ケース以外の情報共有もスムーズに行われるようになりました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	要保護児童等の対応は担当課だけでなく、他機関による連携した対応が必要となりますので、今後ともきめ細やかな情報共有に努めます。						

事業番号	75	事業名	いじめ問題等対策事業	担当課	指導課		
計画内容	いじめ予防や防止、早期解決に向けた支援を推進するための児童・生徒や保護者を対象とした「いじめ110番」専用電話による相談の実施や、いじめ問題について地域全体で取り組む意識を育むための周知・啓発活動を充実します。 また、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、各学校の実情に応じたいじめのない学校づくりを推進するとともに、「浦安市いじめに係る対策・調査委員会設置条例(仮称)」の制定を進めます。						
	いじめの未然防止、早期発見・解消及びいじめ防止に係る啓発活動	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	「学校いじめ防止基本方針」によるいじめのない学校づくりの推進	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	「浦安市いじめ防止基本方針」を4月1日に施行し、同方針の広報・啓発に努めるとともに、いじめの防止等のための対策や取組を実施しました。いじめ防止の啓発及び相談窓口の周知を図るため、クリアファイル・リーフレットを作製・配付するとともに、教員対象の階層別研修を実施しました。また、いじめ110番においては、13件(述べ相談回数)の相談を受理し、早期対応が必要なケースについては、学校と連携して対応を図りました。7月、10月、1月には、浦安市いじめ対策調査委員会を開催し、委員から専門的な知見を仰ぎ、いじめの防止等の対策の充実及び強化を図ることができました。					
	実績値	いじめの未然防止、早期発見・解消及びいじめ防止に係る啓発活動	推進	予算額	3,624千円	決算額	3,234千円
		「学校いじめ防止基本方針」によるいじめのない学校づくりの推進	推進				
評価	A	6月に中学生サミットを開催し、「うらやすっ子SNSルール」を策定しました。さらに、広報媒体等を通じて、市及び県下に本市の同取組を周知しました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	今年度施行した浦安市いじめ防止基本方針の点検・評価を行うとともに、同方針に基づき、いじめの防止等に係る対策・取組をさらに推進・充実します。						

(3)子育て家庭への相談・支援の充実

事業番号	76	事業名	子育て家庭への経済的支援の充実			担当課	こども課	
計画内容	子育てに係る経済的な負担を軽減するため、中学校修了までの子どもを養育している保護者に児童手当を支給します。また、中学校3年生までの子どもが病院などで保険診療を受けた場合、保護者が負担した医療費を助成します。							
	児童手当 延べ支給件数	平成25年実績	302,103件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続	
	子ども医療費助成 延べ件数	平成25年実績	377,420件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続	
平成28年度実施状況と評価	実施状況	中学校修了までの子どもを養育している保護者に児童手当(所得制限限度額以上の方については、支給対象児童1人当たり1月5,000円の特例給付)を支給しています。また、中学校3年生までの子どもが病院などで保険診療を受けた場合、保護者が負担した医療費を助成します。また、助成対象者全員が千葉県内の病院を受診した際は、現物給付の方法で医療を受診しています。所得制限は設けていません。						
	実績値	児童手当 延べ支給件数	282,941件	予算額	2,660,882千円	決算額	2,678,770千円	
		子ども医療費助成 延べ件数	364,913件		779,717千円		763,577千円	
評価	A	子育て世帯への経済的負担の軽減と生活の安定を図ることに成果を上げています。						
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続き、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、児童手当・子ども医療費助成事業の各事業を実施していく予定です。							

事業番号	77	事業名	多子世帯の保育料等の軽減支援事業			担当課	保育幼稚園課	
基 計画内容	第1子から第3子までの出産期間が、6年を超えるケースが多くなっているため、市の単独補助として、従来の補助対象年齢を引き上げ、多子世帯の保育料等の軽減支援を行います。							
	保育所等運営費保護者負担金軽減	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続	
	認証保育所通園児補助金加算支給	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続	
	幼稚園就園奨励費補助金加算支給	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続	
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成27年度から兄弟の年齢制限を廃止し、保育園・認定こども園・幼稚園・認証保育所等に通園している児童が第2子以降に該当する場合に保育料等の減免・加算補助を実施。 ・保育園・幼稚園・認定こども園等 基準額表保育料等より第2子は半額、第3子以降は無料 ・認証保育所・私立幼稚園 第2子・第3子以降に該当する補助額を上乗せ加算補助						
	実績値	保育所等運営費保護者負担金軽減	継続	予算額	185,208千円	決算額	197,098千円	
		認証保育所通園児補助金加算支給	継続					
		幼稚園就園奨励費補助金加算支給	継続					
評価	A	多子世帯の経済的負担の軽減に資することができました。						
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続き保育料等の減免・加算補助を実施。							

事業番号	78	事業名	奨学支援金支給の実施	担当課	教育総務課		
計画内容	高等学校等の就学を希望し入学する者で、経済的な理由により修学することが困難な者に対し、家庭での経済的負担を軽減するため、学業に必要な経費の一部を支援する「奨学支援金」の給付を実施します。						
	奨学支援金支給件数	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成28年4月4日より申請受付を開始し、申請が高等学校等225件、大学等149件、合計374件あり、そのうち高等学校等213件、大学等141件、合計354件に高等学校等月額5,000円、大学等月額15,000円の奨学支援金を給付しました。					
	実績値	奨学支援金支給件数	354件	予算額	37,400千円	決算額	36,590千円
評価	A	申請者、支給者が増加しており、制度の周知や利用が進んでいます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	奨学支援金支給制度については平成27年度より実施しており、経済的な理由により修学することが困難な学生に対し、学業に必要な経費の一部を支給しています。制度開始2年目の平成28年度は利用者が増加しており、平成29年度も同様の支給要件・金額で奨学支援金支給制度を実施していきます。						

事業番号	79	事業名	ひとり親家庭への相談・生活支援の充実	担当課	こども家庭支援センター		
重 事 計画内容	母子・父子自立支援員がひとり親家庭の生活などの相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行います。また、未就学児のいるひとり親家庭で、父母が病気・就職活動などで一時的に生活援助を必要としている場合や生活環境の変化などで日常生活に支障が生じている場合にホームヘルパーを派遣します。						
	延べ相談件数	平成25年実績	1,506件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	ホームヘルパー派遣世帯数	平成25年実績	4世帯	平成29年目標	5世帯	平成31年目標	5世帯
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の生活等の相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行っています。					
	実績値	延べ相談件数	1,900件	予算額	7515千円	決算額	7256千円
		ホームヘルパー派遣世帯数	8世帯				
評価	A	ひとり親家庭の自立のために必要に応じてホームヘルパーを派遣するなどしています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、きめ細やかな対応に努めます。						

事業番号	80	事業名	母子家庭等就労支援の充実	担当課	こども家庭支援センター		
事 計画内容	母子家庭などの自立促進のため、パソコン教室や就労支援講座を開催するとともに、ハローワークなどの関係機関と連携を取りながら、個別に自立支援プログラムを策定します。また、ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するため、教育訓練講座や高等技能訓練の受講者に給付金を支給します。						
	教室・講座延べ参加者数	平成25年実績	25人	平成29年目標	30人	平成31年目標	30人
	自立支援プログラム申請者	平成25年実績	2人	平成29年目標	3人	平成31年目標	3人
	自立支援給付件数	平成25年実績	7件	平成29年目標	5件	平成31年目標	5件
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	「シングルマザーお仕事応援セミナー(ワード・エクセル基礎、就活講座)」 平日コース(6月)、夜間コース(9月～10月)、土曜コース(1月～3月)を各1回実施しました。					
	実績値	教室・講座延べ参加者数	21人	予算額	2644千円	決算額	1642千円
		自立支援プログラム申請者	0人				
自立支援給付件数		4件					
評価	A	ミニコミ紙の掲載を行うなど、事業の周知を積極的に行った。夜間・土曜コースについては例年より参加者が多く、働きながら転職を目指す方や職場での実務に役立てたいという方たちに好評でした。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	ひとり親家庭の親は多忙な方も多く、より多くの方が参加できるよう開催方法等を工夫していく必要がある。受講者にとって実務に役立つ内容や、良質な就職、転職に結びつくような効果的な講座を開催していく必要がある。						

事業番号	81	事業名	ひとり親家庭への経済的支援の実施	担当課	こども課		
事 計画内容	ひとり親家庭の経済的な負担を軽減するため、18歳未満の子ども及びその親が病院などで保険診療を受けた場合、負担すべき医療費を一部助成します。また、賃貸住宅に暮らすひとり親家庭に住宅手当を支給します。さらに保護者が交通事故で死亡または重度の障がい者となった場合に交通遺児手当を支給します。						
	ひとり親家庭等医療費等助成 延べ件数	平成25年実績	6,556件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	ひとり親家庭住宅手当 延べ支給件数	平成25年実績	6,083件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	交通遺児手当 延べ支給件数	平成25年実績	71件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	ひとり親家庭等の方が、医療機関等で支払った保険診療の自己負担額(1レセプトにつき1,000円、入院時食事代等は除く)を助成しています。また、月額10,000円を超える家賃を支払っているひとり親家庭の世帯主の方に、月額15,000円を限度として住宅手当を支給しています。その他、保護者が交通事故で死亡または重度の障がい者となった児童を養育する保護者に、交通遺児手当を支給しています。ただし、所得制限あり。					
	実績値	ひとり親家庭等医療費等助成 延べ件数	7,179件	予算額	19,990千円	決算額	19,299千円
		ひとり親家庭住宅手当 延べ支給件数	5,936件		81,000千円		86,495千円
		交通遺児手当 延べ支給件数	60件		829千円		828千円
評価	A	ひとり親家庭等への経済的負担の軽減と住環境の安定を図ることに成果を上げています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、ひとり親家庭等の経済的な負担を軽減するため、各事業を実施していく予定です。対象となる方からの申請に基づく助成・支給となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。						

事業番号	82	事業名	青少年相談事業の充実	担当課	青少年センター		
重 計画内容	青少年の非行防止及び健全育成を図るため、青少年の問題行動や学校、家庭などでの悩みごとについて、青少年センター相談員が相談を受け、問題解決に向けて適切な助言を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介などを行います。						
	延べ相談件数	平成25年実績	392件	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	平成28年度末で、受理件数54件に対して273回の相談をおこないました。月一回「要保護児童実務者会議」に出席し、他機関との連携を密にするとともに「(財)日本臨床心理士会」等が主催する研修にも参加し、子どもたちを取り巻く諸問題の変化にも対応できる相談態勢の確保に努めました。					
	実績値	延べ相談件数	273	予算額	3,137千円	決算額	2,987千円
		評価	A	青少年相談活動の一層の充実を資することを目的に「浦安市要保護児童対策地域協議会実務者会議」「女性と子どものための相談事業担当者会議」へ参加するなど、他の相談機関との連携を図りました。このことにより、機関・担当者の情報を相互に認識し、相談事業を円滑に行う上でのネットワークづくりを構築することができました。			
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き青少年相談業務の円滑な運営と更なる充実を図っていきますが、重要かつ緊急を要する相談も入ってきていることから、関係機関と連携の在り方を考慮した相談対応マニュアルを作成し、緊急な措置が必要な相談や、犯罪やいじめなど連携が必要な相談が入った場合の処理の仕方について検討して参ります。						

事業番号	83	事業名	浦安市適応指導教室の設置	担当課	指導課		
重 計画内容	集団不適応、不登校傾向にある児童・生徒を対象に、いちよう学級において学習活動・集団活動、カウンセリングなどを行い、集団適応能力や自己決定力の育成を支援します。また、学校生活及び教育全般にわたる諸問題について、電話や面接、訪問による相談を行います。						
	いちよう学級における指導・支援	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	教育相談・訪問相談による支援・援助	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	いちよう学級では、学習指導・集団活動等とおして、個々に応じたきめ細かな指導・援助を行うとともに、学校復帰を支援しました。教育相談では、学校生活に関すること、心や身体のこと、その他適性に関すること等に関して、児童生徒及びその保護者、教育関係者からの相談に応じました。訪問相談では、ひきこもり傾向にある児童生徒及びその保護者を対象に訪問によるカウンセリング、新たに配置した統括訪問相談員による学習支援をとおり、いちよう学級や校内支援教室等へつなげる支援を行いました。					
	実績値	いちよう学級における指導・支援	1728名	予算額	28,901千円	決算額	28,760千円
		教育相談・訪問相談による支援・援助	4655回				
評価	A	いちよう学級の通級生は、学習活動や集団活動等を通して様々な体験を積み重ね、小集団の生活に適応できるようになってきています。教育相談においては、個々の状況に応じた支援策を検討し、具体的な対応を行うことができました。訪問相談においては、いちよう学級に通級できるようになったり、対話時間が長くなったなどの好転が見られました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	3部門(いちよう学級・教育相談・訪問相談)による支援を強化するとともに、学校や関係諸機関との連携のさらなる充実を図ります。						

事業番号	84	事業名	外国人相談窓口の実施	担当課	地域ネットワーク課		
計画内容	日本の文化に不慣れな外国人が生活しやすい環境づくりを推進するため、外国人アドバイザーによる行政情報の提供や庁舎内窓口業務のサポート、さらに、子どもの学校や医療などを含めた日常生活に関する様々な相談を実施します。						
	延べ相談件数	平成25年実績	512件	平成29年目標	550件	平成31年目標	550件
	対応言語数	平成25年実績	7か国語	平成29年目標	7か国語	平成31年目標	7か国語
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	外国人アドバイザーが情報の提供、医療や子育て等、日常生活に関する様々な相談を受ける窓口を設置しています。 [アドバイザー] 3名 [開設日] 毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後4時(正午から午後1時を除く) [言語] 月・火曜日 英語・ポーランド語・フランス語・ロシア語・日本語 水・木曜日 英語・スペイン語・日本語 金曜日 英語・中国語・日本語 [費用] 無料 [方法] 市役所に来庁または電話					
	実績値	延べ相談件数	712件	予算額	3,380千円	決算額	3,314千円
		対応言語数	7か国語				
評価	A	日本語の不自由な外国人が、日々の暮らしの中で必要な情報を、外国語で情報提供や窓口での通訳など、在住外国人に対しての支援を行うことが出来ました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	日本語が不自由な外国人にとっては、外国語で相談できる機会が限られてるいるため、外国人アドバイザーによる相談窓口の意義は大きいことから、平成29年度も継続して実施します。						

5 地域で子どもを見守り大切にすまちづくりの推進

(1)子どもの安全を見守る環境づくりの充実

事業番号	85	事業名	地域防犯ネットワークの充実	担当課	防犯課		
重 計画内容	地域における子どもの安全を確保するため、登下校時間帯を中心に小・中学校の通学路などの市内巡回パトロールを行うとともに、自治会やPTAをはじめとする地域の自主防犯活動団体や学生防犯委員会V5、防犯ボランティアなどが行う防犯活動を支援します。また、防犯協会や警察署と連携しながら、防犯キャンペーンや防犯講演会を実施し、市民の防犯意識の高揚を図ります。さらに、事業者の協力のもと、防犯かけこみ110番の店や事業者パトロール隊による見守りを強化するなど、地域防犯ネットワークを充実します。						
	防犯ボランティア登録数	平成25年実績	525人	平成29年目標	700人	平成31年目標	850人
	防犯講習会・講演会回数	平成25年実績	16回	平成29年目標	25回	平成31年目標	30回
	事業者パトロール隊事業者数	平成25年実績	39事業者	平成29年目標	45事業者	平成31年目標	50事業者
	防犯かけこみ110番の店 店舗数	平成25年実績	498店舗	平成29年目標	900店舗	平成31年目標	1,000店舗
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	地域における子どもの安全を確保するため、登下校時間帯を中心に小・中学校の通学路などの市内巡回パトロールを行うとともに、地域の自主防犯活動団体や学生防犯委員会V5、防犯ボランティアなどが行う防犯活動を引き続き支援しました。また、防犯協会や警察署と連携しながら、防犯キャンペーンや防犯講演会を継続して実施し、事業者の協力のもと、防犯かけこみ110番の店や事業者パトロール隊の拡充を図りました。					
	実績値	防犯ボランティア登録数	417人	予算額	5,366千円	決算額	4,667千円
		防犯講習会・講演会回数	5回				
		事業者パトロール隊事業者数	41事業者				
防犯かけこみ110番の店 店舗数		1041店舗					
評価	A	おおむね計画通りにキャンペーンや講演会の実施を行っており、また、各地域の自主防犯団体に対する支援や、防犯かけこみ110番の店並びに事業者パトロール隊の拡充を行いました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き各活動を継続するとともに、防犯ボランティア制度の周知・拡充を行うなど、地域の防犯ネットワークの強化を図ります。						

事業番号	86	事業名	移動防犯活動事業	担当課	防犯課		
計画内容	高洲移動防犯ステーションを活動拠点として、防犯指導員(警察官OB)を中心に移動防犯車を活用しながら、小学校や幼稚園、保育園、公園、公民館など様々な場所で防犯教室・防犯訓練・啓発活動などを実施します。						
	防犯教室・防犯訓練・啓発活動等実施回数	平成25年実績	163回	平成29年目標	180回	平成31年目標	200回
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	高洲移動防犯ステーションを活動拠点として、防犯指導員(警察官OB)を中心に移動防犯車を活用しながら、小学校や幼稚園、認定こども園、保育園、公園、公民館など様々な場所で防犯教室・防犯訓練・啓発活動などを継続して実施しました。					
	実績値	防犯教室・防犯訓練・啓発活動等実施回数	142回	予算額	13,835千円	決算額	13,442千円
		評価	A				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	引き続き本事業を実施し、生徒・児童ならびに教職員に対し、より一層の防犯意識の向上を図る。また、近年の全国における連れ去り事案などを考慮し、「連れ去り防止教室」など防犯教室の対象学年の拡充を図る必要がある。						

事業番号	87	事業名	学校等防犯対策の充実	担当課	保健体育安全課			
計画内容	警察と連携しながら実践的・効果的な防犯訓練や防犯教室を実施し、教職員の危機管理意識の向上と子どもの防犯教育の充実を図ります。また、市立全小学校への昼間帯における警備員配置など防犯体制を強化するとともに、学校の防犯設備などを充実します。							
	防犯教室実施校数	平成25年実績	18校	平成29年目標	17校	平成31年目標	17校	
	防犯訓練実施校数(小中学校/幼稚園)	平成25年実績	26校/14園	平成29年目標	26校/14園	平成31年目標	26校/14園	
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校新入学児童を対象とする防犯教室(連れ去り防止)の実施・・・全市立小学校(17校) ・不審者侵入を想定した防犯訓練の実施・・・全市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園(26校14園) ・地域安全マップ作成の奨励・・・各小学校の授業で随時実施 ●防犯体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に警備員を1名配置・・・全市立小学校(17校) ・防犯カメラの設置・・・全市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園(26校14園) ●通学時の防犯対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の防犯ブザー携行による通学の奨励・・・携行率66.7% 						
	実績値	防犯教室実施校数	17校		予算額	45,221千円	決算額	45,114千円
		防犯訓練実施校数(小中学校/幼稚園)	26校/14園					
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯訓練、防犯教室(連れ去り防止)、地域安全マップ作成等の防犯教育を推進することにより、教職員の危機管理意識の高揚及び児童生徒の危険予測・回避能力の向上が図られました。 ・警備員の配置、防犯カメラの設置等による防犯体制の強化及び防犯ブザー携行による通学の奨励等により、不審者の侵入や児童生徒が被害者となる連れ去り事件等を未然に防ぎ、児童等の安全が確保されました。 						
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続き学校等防犯対策の充実に向け、防犯訓練、防犯教室(連れ去り防止)、地域安全マップ作成の奨励等を通じて防犯教育の充実を図るとともに、警備員の配置、防犯カメラの設置等による防犯体制の強化及び児童の防犯ブザー携行による通学の奨励により、通学時の防犯対策の推進を行います。							
事業番号	88	事業名	交通事故防止対策の充実	担当課	保健体育安全課			
計画内容	市立小学校において、警察と連携しながら交通安全教室や自転車安全運転教室を定期的かつ継続的に開催し、交通安全教育の充実を図ります。また、通学路の安全点検を行い、特に交通事故の危険性が高い交差点に交通整理員を配置するなど、交通事故防止対策を推進します。							
	交通安全教室実施校数	平成25年実績	18校	平成29年目標	17校	平成31年目標	17校	
	自転車安全運転教室実施校数	平成25年実績	18校	平成29年目標	17校	平成31年目標	17校	
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・春・夏・秋・冬の交通安全運動の実施・・・全市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園(26校14園) ・交通安全教室の実施・・・全市立小学校(17校)1年生児童1,516名 ・自転車安全運転教室の実施・・・全市立小学校(17校)3年生児童1,545名 ●通学路の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の危険性が高い交差点への交通整理員の配置・・・浦安橋東詰交差点他8か所に14名配置 ・ボランティアによる登下校時の交通誘導活動・・・交通安全推進隊等による誘導 ・通学路検討会の開催・・・危険箇所に対する安全点検及び安全対策の実施 						
	実績値	交通安全教室実施校数	17校		予算額	13,240千円	決算額	13,239千円
		自転車安全運転教室実施校数	17校					
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室、自転車安全運転教室の実施により児童の交通安全意識が高まりました。 ・交通整理員及びボランティアによる交通誘導により、交通事故の発生を未然に防ぐことができました。 ・通学路検討会の開催により、市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園の通学路の現状把握及び状況に応じた安全対策を講じることができました。 						
平成29年度事業予定と今後の課題	引き続き交通事故防止対策の充実に向け、交通安全運動、交通安全教室、自転車安全運転教室等を実施し、交通安全教育の充実を図るとともに、交通整理員の配置、ボランティアによる交通誘導活動及び通学路検討会の開催等を通じて通学路の安全対策を講じます。							

事業番号	89	事業名	薬物乱用防止等対策の推進	担当課	保健体育安全課		
計画内容	児童・生徒が薬物使用及び喫煙による健康被害を学び、正しい行動が判断できる能力を育成するため、市立小中学校において学校薬剤師や警察などの専門家と連携した薬物乱用防止教室を計画的に実施します。						
	薬物乱用防止教育(小学校/中学校)	平成25年実績	18校/7校	平成29年目標	18校/7校	平成31年目標	17校/9校
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	児童・生徒が薬物使用及び喫煙による健康被害を学び、正しい行動が判断できる能力を育成するため、市立小中学校において学校薬剤師や警察などの専門家と連携した薬物乱用防止教室を計画的に実施しました。					
	実績値	薬物乱用防止教育(小学校/中学校)	17校/9校	予算額	学校保健会の助成金の一部	決算額	学校保健会の助成金の一部
	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部専門家の指導などにより、薬物乱用の危険性等への理解が深まりました。 ・正課授業と薬物乱用防止教室の開催を連動して計画的に実施することで、児童生徒の理解と行動化への意識付けが強化されました。 ・「学校保健委員会」と連動して開催することで、保護者の理解を図ることもつながりました。 ・次年度以降も全小中学校での薬物乱用防止教室開催を目指しています。 				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	専門家を活用した薬物乱用防止教室の開催や、地域を含めた保護者との連携を見据えた薬物乱用防止に関する情報提供等、薬物乱用防止の充実に向け、引き続き取り組みます。						

事業番号	90	事業名	子ども向け消費生活学習の推進	担当課	消費生活センター		
計画内容	子どもが悪質商法や携帯電話トラブルに巻き込まれる被害を未然に防止するため、市内中学校3年生と高校3年生を対象に啓発リーフレットを配布するとともに、消費生活に関する講座を実施します。						
	配布学校数	平成25年実績	14校	平成29年目標	15校	平成31年目標	15校
	講座開催数	平成25年実績	1回	平成29年目標	1回	平成31年目標	1回
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	市内の中学校11校(うち2校が私立中学)の中学3年生に啓発パンフレット1700部を配布しました。					
	実績値	配布学校数	1700	予算額	43千円	決算額	43千円
	評価	D	子どもが悪徳商法や携帯電話のトラブルに巻き込まれる被害を未然に防ぐための啓発を行うことができました。				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	例年どおりこれまでの計画内容で事業を行っていく予定です。						

事業番号	91	事業名	青少年補導員活動・地域パトロールの実施		担当課	青少年センター	
重 計画内容	児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員が警察や関係機関と連携してパトロールによる街頭補導を行います。また、未成年に対して酒・たばこ・有害図書などを販売しないよう、販売業者に対して年齢確認の徹底や有害図書などの適正陳列に関する協力依頼などを行います。さらに、広く市民に理解と協力を呼びかけるため、広報誌の発行やキャンペーンなどを行います。						
	補導員数	平成25年実績	105人	平成29年目標	110人	平成31年目標	110人
	広報誌発行回数	平成25年実績	6回	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	主催事業として、「県下一斉合同パトロール」「花火大会パトロール」「盆踊り大会パトロール」「市民まつりパトロール」「県下一斉広域列車パトロール」などの各種パトロールをはじめ、「補導員一日研修」「県補導(委)員連絡協議会研修」などの研修に参加しました。また、青少年センター主催の「非行防止キャンペーン」「一日補導員キャンペーン」に協力参加するとともに他機関の主催である「社会を明るくする運動」「歳末防犯パトロール」などにも参加しました。					
	実績値	補導員数	105	予算額	3,324千円	決算額	2,641千円
		広報誌発行回数	3				
評価	A	青少年補導委員連絡協議会の主催する事業以外にも他機関が主催するキャンペーン等にも積極的に参加し、青少年補導委員連絡協議会の活動を広く周知することができました。このことにより、その活動が市民の理解と協力を得るとともに他機関との連携が深まり効果的な活動を推進することができました。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度においても、地道に例年通りの活動を行って行く中で、学校などを通じ、青少年補導員を子どもたちに知ってもらい、身近な地域の大人として、非行の未然防止や犯罪被害防止に努めていきます。 また、年々、活動への参加者が少なくなっており、委嘱の対象や各種パトロールの時間設定など充実した活動が出来るような仕組みを構築していく必要性があります。						

事業番号	92	事業名	子育て世帯に向けた平常時からの防災対策の広報、啓発		担当課	防災課	
重 計画内容	災害時に、子育て世帯が自分たちの身の安全を守るために取り組む「自助」活動として、非常持出品や非常備蓄品、その他防災対策について、市ホームページ、広報誌等の情報媒体や各種イベント等を活用して、平常時からの防災に対する啓発、意識づけを行います。						
	防災対策の広報・啓発	平成25年実績	充実	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	市ホームページ、広報等の情報媒体や、市総合防災訓練等イベントへの支援等により、子育て世帯への防災に対する啓発を行いました。また、子ども向けにアニメーションによる防災啓発用DVDを購入し、総合防災訓練等で放送し啓発を行いました。				
実績値		防災対策の広報・啓発	充実	予算額	71千円	決算額	55千円
評価	A	子育て世代へのイベントで啓発冊子を活用して、啓発したことで防災に対する啓発意識づけの効果は向上したものと考えます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度に引き続き、市ホームページ、広報等の情報媒体や、市総合防災訓練等各種イベントを通じて子育て世帯での「自助」の取り組みの重要性について啓発していきたいと考えます。また、共助として自治会自主防災組織への参加など地域連携の重要性についても、周知していきたいと考えます。						

(2)子育て家庭を応援する地域づくりの充実

事業番号	93	事業名	子育て・家族支援者養成講座の実施		担当課	こども課	
重 計画内容	20歳以上の市内在住、在勤の方を対象に、市内で活動する子育て・家族支援者として十分な知識と技術を習得するための講座を実施します。また、講座修了後は活躍の場の紹介やバックアップ研修を行い、講座で学んだ知識を生かし地域での実践につなげていけるよう支援します。						
	3級認定者数	平成25年実績	325人	平成29年目標	480人	平成31年目標	560人
	2級認定者数	平成25年実績	128人	平成29年目標	190人	平成31年目標	220人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>市内で活動する子育て・家族支援者として十分な地域と技術を習得する「子育て・家族支援者養成講座」を実施しました。(国「子育て支援員研修」も兼ねて実施。) またすでに活動をしている子育て・家族支援者及び子育てケアマネジャーへのバックアップ研修も実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3級講座 平成28年5月～7月実施 ・2級講座 平成28年10月～12月実施 ・子育て・家族支援者講座バックアップ研修 年11回実施 ・子育てケアマネジャーバックアップ研修 年6回実施 					
	実績値	3級認定者数	441人	予算額	8,833千円	決算額	8,819千円
		2級認定者数	193人				
評価	A	子育て・家族支援者認定者は着実に増加しており、その認定者は様々な子育て支援活動で活躍をしています。こうした支援活動のフォローアップも研修を通じて行うことができます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	子育て・家族支援者養成講座の3級講座と2級講座を統合整理し、開催回数を年1回から年2回に増やし、地域で子育て支援を担う幅広い人材を養成をします。また、「子育て支援員」の養成も引き続き実施します。国「子育て支援員研修」制度に先行し、本市は平成18年度から人材養成を行ってきたため、過去の認定者に対して、現制度に対応するための追加研修を課し、制度移行期間中にすべての認定者を子育て支援員研修修了者に移行します。						
事業番号	94	事業名	地域子育て応援団事業		担当課	こども課	
重 計画内容	子育て・家族支援者養成講座の修了生が活動する子育て支援団体である「お助けねっと・こんぺいとう」及び「おやこの広場・ほこほこ」が公民館・児童センター・自治会集会所で行う子育てサロン活動を支援します。						
	サロン開催場所	平成25年実績	2箇所	平成29年目標	2箇所	平成31年目標	2箇所
	参加者数	平成25年実績	5,000人	平成29年目標	5,000人	平成31年目標	5,000人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>子育て・家族支援者養成講座2級修了生の活動実践の場として、高洲児童センター内交流の広場及び東野児童センターにて子育てサロンを開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高洲児童センター 月～金曜日 10時～13時30分 ・東野児童センター 第1～3週月曜日 10時～13時30分 第1～4週金曜日 10時～16時00分(最終水曜日含む) 					
	実績値	サロン開催場所	2箇所	予算額	6,691千円	決算額	6,691千円
		参加者数	9,707人				
評価	A	子育て中の親子の交流・情報交換の場として、また、子育てに関する相談などの場として、子育てサロンが開催され、地域の子育て支援の担い手として、開始当初より活躍することができます。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	児童センターの就学児が訪れない日中(午前中)の時間を活用し、子育て・家族支援者養成講座2級認定者で結成された2団体が、市内2ヶ所の児童センターにおいて、それぞれ子育てサロンを主体的に開催、運営を行い、多くの参加者を迎えています。また、開催日数についても年々拡大を図り、今後も引き続き、多くの市民が参加できる機会と環境を整えていきます。						

事業番号	95	事業名	あかちゃんほっとすてーしょん設置の推進	担当課	こども課		
計画内容	子どもを連れて外出した際に、授乳とおむつ替えができる休憩スペース「あかちゃんほっとすてーしょん」を、公共施設及び事業所などの協力を得て市内店舗などに設置します。						
	設置箇所数	平成25年実績	4箇所	平成29年目標	7箇所	平成31年目標	10箇所
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成28年7月より当事業を登録制度に移行し、授乳とおむつ替えが行える民間施設及び公共施設の現地確認、登録を実施しました。また、市役所新庁舎(1階・10階)、浦安音楽ホール、運動公園野球場に授乳室を新設し、設置箇所数は29箇所(27施設)に増加しました。					
	実績値	設置箇所数	29箇所	予算額	1,050千円	決算額	1,233千円
		評価	A		設置箇所数は29箇所となり、計画目標は達成しましたが、引き続き登録施設(設置箇所)を増やし、設置場所の周知を図っていきます。		
平成29年度事業予定と今後の課題	公共施設の大規模改修時や建設時などに授乳室とおむつ交換スペースの設置を進めます。平成29年度は、旧入船北小学校、総合公園管理事務所に授乳室を設置予定です。また、現時点で登録数の少ない市内民間施設の登録を促進するとともに、広く市民に授乳・おむつ交換場所を公表し、乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境づくりを推進します。						

事業番号	96	事業名	子育て支援パスポート事業	担当課	こども課		
計画内容	重 基						
	市内協賛店舗で割引や付加サービスなどの特典を受けることができる子育て支援パスポート事業を引き続き実施するとともに、協賛店舗の募集を図り、利用範囲の拡大に努めます。また、5年間継続して協賛している店舗を「子育て応援事業所」として表彰します。						
	協賛店舗数	平成25年実績	91店舗	平成29年目標	130店舗	平成31年目標	150店舗
	表彰件数	平成25年実績	—	平成29年目標	70件	平成31年目標	90件
平成28年度実施状況と評価	実施状況	平成22年4月1日より子育て支援パスポート事業を開始し、平成28年度は、91店舗の事業所に協賛いただいています。また、新規店舗の募集や継続的に協賛いただいている店舗にサービス内容の更新を行い、平成29年度版子育て支援パスポートガイドブック(冊子・電子書籍)の作成を行いました。さらに、協賛5年を迎えた事業所に対して、3月に表彰式を開催しました。					
	実績値	協賛店舗数	91店舗	予算額	1,393千円	決算額	1,227千円
		表彰件数	68件				
評価	A	協賛店の総数は、店舗の閉店等もあり、90店舗程度で安定していますが、着実に新規店舗は増加しており、事業の周知や子育て家庭のパスポートの利用が進んでいます。					
平成29年度事業予定と今後の課題	子育て支援パスポート事業については、平成22年度から市独自事業として開始し、年々着実に協賛店舗を増やしており、また、平成25年度からは千葉県「子育て応援！チーパス事業」が開始され、本市では県民対象のチーパスと子育て支援パスポートの2種類を利用することが可能となっています。平成26年度からはパスポートカードを利用できる協賛店舗を掲載したガイドブックを電子書籍化するとともに、協賛5年を経過した事業所に向けた表彰式を開催しています。平成29年度もこれらの取り組みを引き続き実施するとともに、協賛店舗拡大や利用促進を図る試みを行っていきます。						

事業番号	97	事業名	子育て応援メッセ実行委員会補助金の交付		担当課	こども課	
重 計画内容	妊娠中の方から未就学児を持つ方を対象に、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流が行なえる場を提供する子育て応援メッセを開催する実行委員会に運営費補助金を交付します。						
	参加者数	平成25年実績	2,720人	平成29年目標	3,000人	平成31年目標	3,000人
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	妊娠中から未就学児を持つ市民を対象に、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流などを目的に開催した「子育て応援メッセ」の実行委員会に対し、補助金を交付しました。					
	実績値	参加者数	5640人	予算額	1,000千円	決算額	1,000千円
		評価	A	平成28年9月24日(土)に子育て応援メッセが開催され、市で子育て支援活動を行う団体が一堂に集まり、行政機関や民間団体などの情報が収集できる場として、多くの子育て世帯が集まり、好評のうちに終了しました。			
平成29年度 事業予定と 今後の課題	これから出産を迎える方や未就学児を持つ保護者、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流を行うことができる機会を提供するため、引き続き補助金を交付し、子育て応援メッセを開催します。						

(3)ワーク・ライフ・バランスの推進

事業番号	98	事業名	企業への男女の平等な待遇等の意識啓発の推進		担当課	商工観光課	
事							
計画内容	職場における男女格差や不平等な慣行を解消するため、セミナーの開催やパンフレットの配布など男女の平等な待遇の意識啓発を行います。						
	パンフレット配布	平成25年実績	実施	平成29年目標	実施	平成31年目標	実施
平成28年度実施状況と評価	実施状況	男女雇用機会均等法に関する啓発チラシを窓口に設置するなど、意識啓発に努めました。					
	実績値	パンフレット配布	通年	予算額	0千円	決算額	0千円
	評価	A	厚生労働省などが作成するパンフレットやチラシを中心に、窓口での配布を行いました。				
平成29年度事業予定と今後の課題	女性活躍促進法の関連施策などとともに、窓口でのパンフレット配布を中心に一層の啓発を図っていきます。						

事業番号	99	事業名	仕事と育児・介護の両立に関する意識啓発の推進		担当課	企画政策課(男女共同参画センター)/商工観光課	
事							
計画内容	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に向けて、仕事と家庭生活の両立に関する講座の開催や育児・介護休業制度に関するパンフレット配布など情報提供や啓発を行います。						
	男女講座等回数	平成25年実績	5回	平成29年目標	3回	平成31年目標	3回
	商工)再就職支援セミナー実施回数	平成25年実績	1回	平成29年目標	1回	平成31年目標	1回
	商工)パンフレット配布	平成25年実績	実施	平成29年目標	実施	平成31年目標	実施
平成28年度実施状況と評価	実施状況	<p>(男女共同参画センター) 女性プラザ推進講座「子育てがラクになる女性学講座」の実施 【日時】平成28年10月7日、14日、21日(午前10時～12時)全3回 【場所】中央公民館第2会議室 【参加人数(延べ)】34人</p> <p>(商工観光課) 平成28年度についても、再就職支援セミナー及び希望者への個別相談を開催しました(開催日11月29日)。 再就職支援セミナーについては11名が出席。セミナー後に開催した個別相談には、2名が参加しました。 また、育児・介護休業制度に関するパンフレットとして、厚生労働省や千葉労働局が作成したチラシを窓口で配布しています。</p>					
	実績値	男女講座等回数	3回	予算額	90千円	決算額	90千円
		商工)再就職支援セミナー実施回数	1回				
	商工)パンフレット配布	3種類					
評価	A	(男女共同参画センター)本年度も子育て中の母親を対象に、子育てや自分に向き合う機会を提供することができました。 (商工観光課)再就職支援セミナーの参加者アンケートの結果を見ても、好評を得ています。					
平成29年度事業予定と今後の課題	(男女共同参画センター)引き続き、ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を行います。講座によっては、参加者数が少ないこともあるため、テーマ・内容の設定、周知方法を工夫していくことが課題になります。 (商工観光課)平成29年度についても、県に対して再就職支援セミナーの開催を要望していきます。参加者数の確保が課題であることから、次年度は広報・周知の強化を図りたいと考えています。						

事業番号	100	事業名	女性の職業能力の開発と様々な働き方への支援の実施	担当課	商工観光課		
重 事 計画内容	女性の職業能力を開発し、新しい働き方に対する選択肢を増やすため、女性の再就職支援講座、労働相談、再就職に関する情報提供や相談などを実施します。またパートタイム、派遣労働、SOHO、フリーランスなど様々な働き方に対する支援や労働に関する法制度の普及・啓発を行います。						
	地域職業相談室における女性の相談件数	平成25年実績	7,111件	平成29年目標	7,200件	平成31年目標	7,300件
	労働・社会保険相談開催回数	平成25年実績	24回	平成29年目標	24回	平成31年目標	24回
	創業支援セミナー開催回数	平成25年実績	1回	平成29年目標	2回	平成31年目標	2回
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	地域職業相談室における相談を通じて求職者の就業を支援するとともに、創業を目指す方々に向けて創業支援セミナーを2回開催しました。					
	実績値	地域職業相談室における女性の相談件数	5,352件	予算額	5,498千円	決算額	4,826千円
		労働・社会保険相談開催回数	24回				
創業支援セミナー開催回数		2回					
評価	A	多種多様な就業ニーズを踏まえ各種セミナーの実施により、女性の職業能力を開発し、女性の働き方に対する選択肢を増やす支援に寄与しています。					
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度についても、継続して事業を実施していきます。						

事業番号	101	事業名	ワーク・ライフ・バランス優良企業表彰制度の検討	担当課	商工観光課		
重 事 計画内容	他の模範となる企業や商店を表彰する優良企業表彰制度を活用して、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を表彰し、その活動を支援する制度を検討します。						
	表彰企業数	平成25年実績	2社	平成29年目標	3社	平成31年目標	3社
平成28年度 実施状況と 評価	実施状況	各市内経済団体からの推薦を受けた5つの会社・団体を対象として、審査会による審議を経て受賞企業5社を決定し、3月27日に表彰式を実施しました。 ※これまで、ワーク・ライフ・バランスに特化して表彰された企業の表彰実績はありません。					
	実績値	表彰企業数	5社	予算額	138千円	決算額	171千円
		評価	A				
平成29年度 事業予定と 今後の課題	平成29年度においても、引き続き優良企業表彰を実施します。 平成28年度はワーク・ライフ・バランスの実現に注力していることを理由に被表彰候補にならなかった企業がないことから、推薦依頼団体に対してはさらなるPRに努めます。						